

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第35週 > 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続して増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-9

< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第35週の報告数は257例で、第35週までの累積報告数は2,553例である
< RSウイルス感染症 > 年齢を問わず発症がみられる疾患であるが、特に乳幼児において重要である



病原体情報
P.10-13

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2006年 / ヘルパンギーナ患者から検出されているウイルス 2006年 / 咽頭結膜熱患者から検出されているウイルス 2006年



速報
P.14

ヘルパンギーナ、手足口病患者からのエンテロウイルス検出状況 - 神奈川県



海外感染症情報
P.15

インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況 / エチオピアおよびソマリアでのポリオ流行



感染症の話
P.16

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(35週)
P.17-23



35週のデータ
P.24-35



発生動向総覧

2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

< 第35週コメント > 9月7日集計分

全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。宜しく御理解下さい。

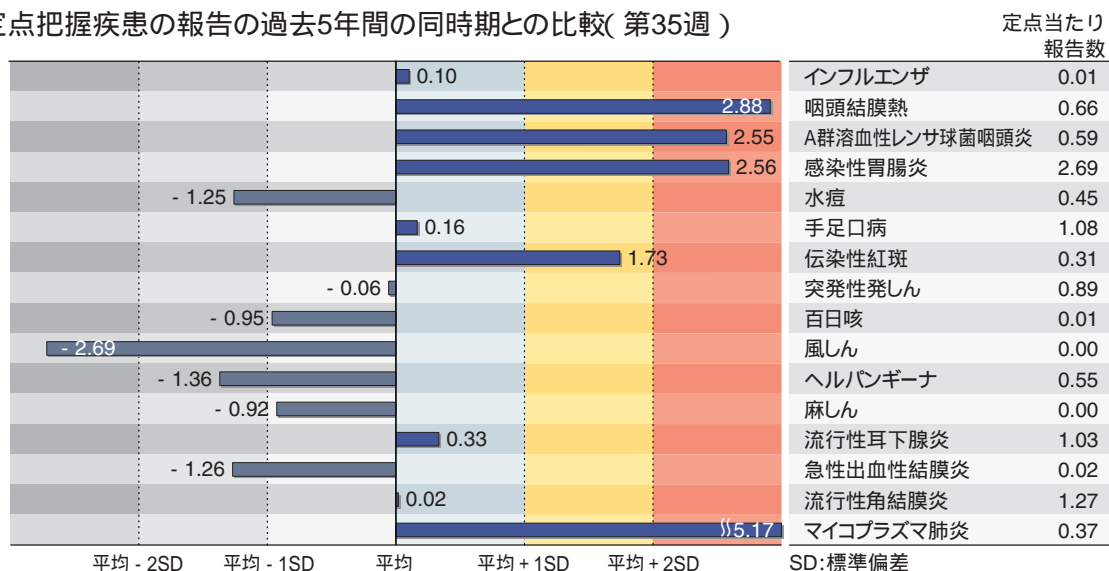
感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ 2例(感染地域: フィリピン1例、疑似症1例)
細菌性赤痢 12例(感染地域: 中国3例、インド2例、モンゴル2例、バングラデシュ1例、ベトナム1例、インドネシア1例、疑似症2例)
パラチフス 1例(感染地域: ミャンマー/タイ)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 257例(うち有症者185例、HUS 4例)
感染地域: 国内256例、韓国1例
国内の多い感染地: 富山県(71例)、宮崎県(28例)、岩手県(11例)
年齢群: 10歳未満(154例)、10代(26例)、20代(21例)、30代(21例)、40代(11例)、50代(9例)、60代(10例)、70歳以上(5例)
血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(139例)、O26 VT1(57例)、O157 VT2(41例)、O111 VT1(4例)、O157 VT1(3例)、O26 VT1・VT2(2例)、O18 VT1・VT2(1例)、O26 VT2(1例)、O111 VT1・VT2(1例)、O121 VT2(1例)、その他/不明(7例)
- 4類感染症: E型肝炎 1例(感染地域: 国内(都道府県不明)、感染源: 不明)
A型肝炎 6例(感染地域: 徳島県1例、福岡県1例、長崎県1例、国内(都道府県不明)2例、インド1例)
つつが虫病 1例(感染地域: 長崎県)
デング熱 1例(感染地域: フィリピン)
日本紅斑熱 3例(感染地域: 愛媛県2例、鹿児島県1例)
日本脳炎 1例(感染地域: 高知県、40代)
マラリア5例 卵形1例、感染地域: ウガンダ
熱帯熱3例、感染地域: ナイジェリア1例、マリ1例、中央アフリカ1例
原虫種不明1例、感染地域: インドネシア
- ライム病 2例(感染地域: 北海道1例、新潟県1例)
レジオネラ症 6例(全て肺炎型)
年齢群: 40代1例、50代2例、60代1例、70代2例
感染地域: 栃木県1例(温泉)、石川県1例(温泉)、愛知県1例、大阪府1例、長崎県1例、熊本県1例
- レプトスピラ症 1例(感染地域: 熊本県)
- 5類感染症: アメーバ赤痢 8例(腸管アメーバ症6例、腸管外アメーバ症2例)
感染地域: 国内7例、東南アジア1例
感染経路: 経口1例、性的接触2例(とともに異性間)、不明5例
- ウイルス性肝炎 3例(すべてB型、感染経路: 性的接触2例(とともに異性間・同性間不明)、不明1例)
- クロイツフェルト・ヤコブ病 3例(すべて孤発性プリオン病古典型)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(血清群: A群、80代)
後天性免疫不全症候群 20例(無症候10例、AIDS 7例、その他3例)
感染地域: 国内17例、タイ1例、国外(国不明)1例、国内・国外不明1例
感染経路: 性的接触19例(異性間10例、同性間8例、異性間・同性間不明1例)、不明1例
- ジアルジア症 2例(感染地域: 国内1例、台湾1例)
梅毒 8例(早期顕症1期2例、早期顕症II期2例、無症候4例)
破傷風 4例(50代1例、60代2例、70代1例)
- (補)他に報告遅れとして、細菌性赤痢3例(感染地域: 中国1例、カンボジア1例、ベトナム1例)、エキノコックス症1例(多包条虫、感染地域: 北海道)、レジオネラ症1例(肺炎型、感染地域: 岡山県(温泉))、急性脳炎1例(病原体不明、4歳)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例(40代1例、60代1例(死亡))、血清群: A群1例、不明1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例(遺伝子型: VanC 1例、菌検出検体: 血液、遺伝子型: 不明1例、菌検出検体: 尿)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第35週)



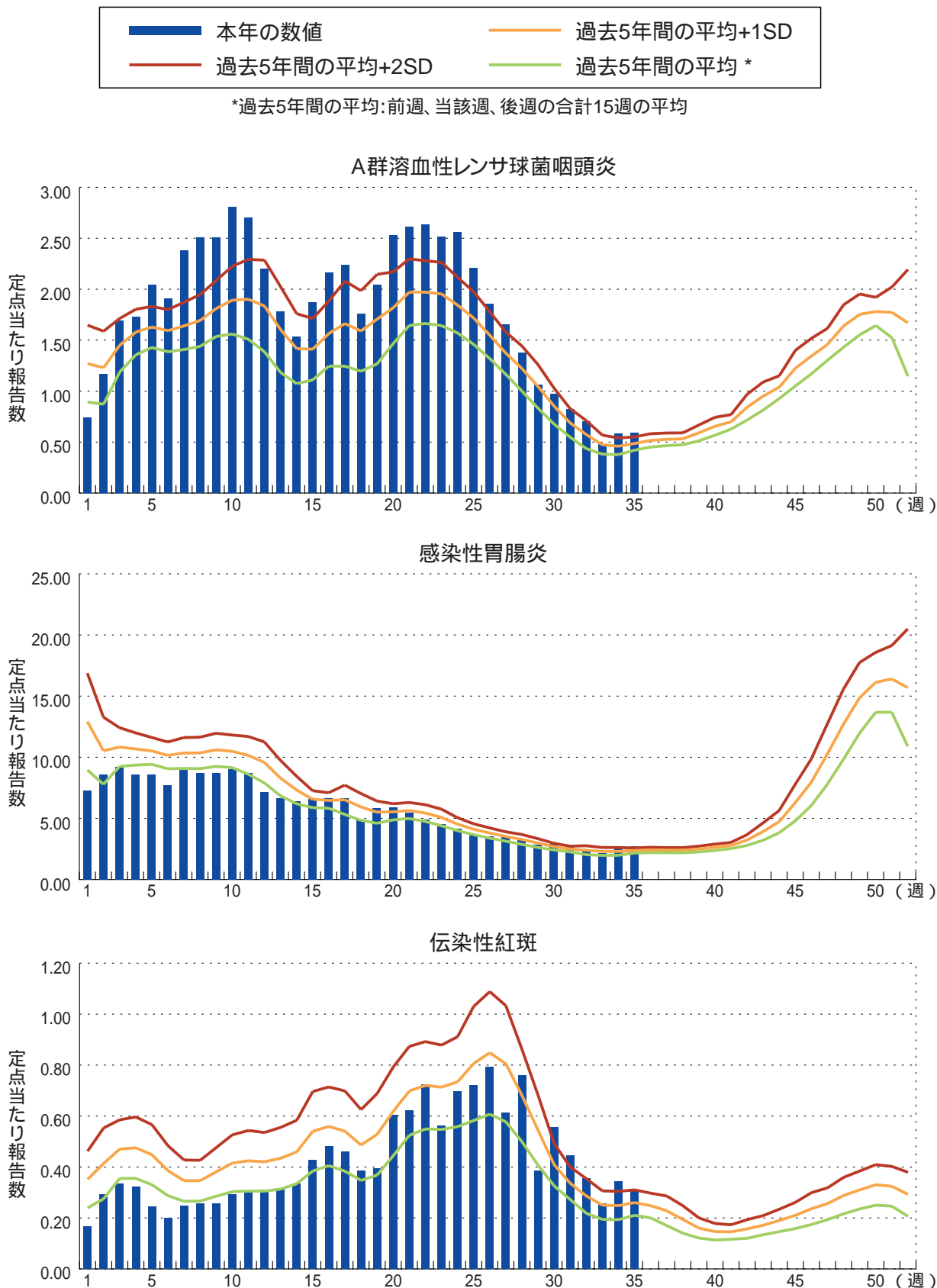
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別では沖縄県(0.34)、茨城県(0.08)、宮崎県(0.05)が多い。

小児科定点報告疾患: RSウイルス感染症は68例の報告があり、報告数は横ばいであった。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の74%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第31週以降、減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では高知県(1.9)、長野県(1.9)、宮崎県(1.4)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は微増し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では鳥取県(1.3)、宮崎県(1.3)、大分県(1.2)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続して増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では鳥取県(6.6)、福井県(6.1)、宮崎県(5.9)、大分県(5.6)が多い。水痘の定点当たり報告数は第32週以降、減少が続いている。都道府県別では大分県(1.25)、徳島県(1.11)、宮崎県(0.86)が多い。手足口病の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では新潟県(5.1)、長野県(4.7)、石川県(4.0)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では長崎県(0.73)、宮崎県(0.70)、岐阜県(0.65)が多い。百日咳の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では栃木県(0.07)、岐阜県(0.06)が多い。風しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では徳島県(0.05)、長野県(0.02)、愛知県(0.01)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第28週以降、減少が続いている。都道府県別では秋田県(1.8)、北海道(1.8)、青森県(1.6)が多い。麻しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では茨城県(0.01)、神奈川県(0.01)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は第31週以降、減少が続いている。都道府県別では新潟県(3.3)、鹿児島県(2.7)、大分県(2.7)が多い。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では大阪府(2.0)、沖縄県(1.4)、群馬県(1.4)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2006年第1 ~ 35週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

腸管出血性大腸菌感染症

2006年の腸管出血性大腸菌感染症の報告数は第15週(27例)から増加が認められ、第20週(59例)に50例を超え、第21～25週は80例前後で推移した。第26～29週は140例前後で推移した後、第30週(237例)には200例を超えた。第31～33週は156～192例であったが、第34週は216例と再び200例を越え、第35週は257例と本年最多であった。本年第35週までの累積報告数は2,553例であるが、今までのところ例年(2000年2,268例、2001年3,534例、2002年2,452例、2003年1,701例、2004年2,648例、2005年2,406例)と比べ、特に多いとは言えない(図1)。

第35週に診断された257例についてみると、報告の多かった都道府県は富山県(72例)、宮崎県(28例)、大阪府(12例)、岩手県(11例)であった(図2a)。また2006年4月から、国内を感染地域とする場合に、県名などの詳細情報を届け出るようになったが、第35週に感染地域として多かった都道府県は、報告の都道府県とほぼ同様で、富山県(71例)、宮崎県(28例)、岩手県(11例)であった(図2b)。そのうち富山県の71例は保育施設に関連した集団発生であり、また宮崎県の9例は第33、第34週診断分として報告された9例とともに、保育施設に関連した集団発生である。さらに、国外を感染地域とするものが1例(韓国)みられた。性別では男性125例、女性132例であり、年齢階級別(10歳毎)では0～9歳(154例)が最も多く、60%を占めた。また有症状者は185例で、無症状病原体保有者が72例であった。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の定期検便によって発見される場合もあるが、多くは探知された患者と食事を共にした者や、接触者の調査などによって発見される場合が多い。分離された菌の血清型・毒素型別では、O157 VT1・VT2(139例)、O26 VT1(57例)、O157 VT2(41例)の順に多かった。

第1～35週の累積報告数2,553例についてみると、報告の多かった都道府県は、大阪府(210例)、東京都(167例)、愛知県(140例)、福岡県(130例)、神奈川県(119例)である(図3)。性別では男性1,219例、女性1,334例であり、年齢階級別(10歳毎)では0～9歳(1,102例)が最も多く、43%を占めている。性別・年齢群別にみると、0～9歳及び10～19歳では男性が女性より多く、それ以上の年齢群では女性が男性より多い。また有症状者は1,709例(67%)で、無症状病原体保有者が844例である。性別・年齢群別に症状の有無をみると、30代、40代の男性、および30代、40代、50代の女性では無症状病原体保有者が多く、50代男性では有症状者と無症状病原体保有者が同数であり、それ以外では有症状者が多い(図4)。分離された菌の血清型・毒素型は、O157 VT1・VT2(1,123例)、O26 VT1(541例)、O157 VT2(521例)の順に多かった。

溶血性尿毒症症候群(HUS)は報告遅れ分や追加報告を含み、第35週に5例の報告があり、累積では64例となった(図4)。2006年4月からHUS発症例の届出は、病原体の分離ができない症例であっても、便から直接のベロ毒素の検出や、血清抗体の検出によって届出対象となった。上記の64例のうち、便から直接のベロ毒素の検出によるものが1例、血清抗体の検出によるものが16例届け出られた。死亡については、第35週までに3例の報告があった。しかし、HUSなどの合併症や死亡については、届け出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があり、発生があった場合の追加・修正報告をお願いしている。

2006年も保育施設での集団発生が相次いで見られている他、飲食店や展示動物に関連した集団発生もみられている。今後も発生の多い状況が続くと予想され、その発生動向には注意が必要である。食品の取り扱いには十分注意して食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが大切である。また保育施設においては、特にオムツ交換時の手洗い、園児に対する食前の手洗い、排便後の手洗い指導を徹底する必要がある。

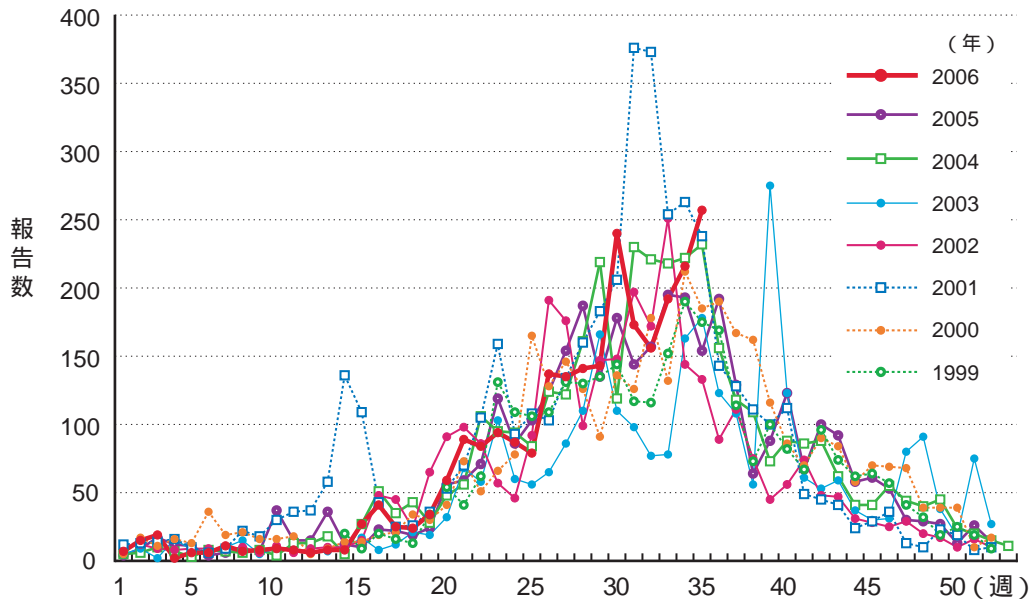


図1. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の年別・週別発生状況

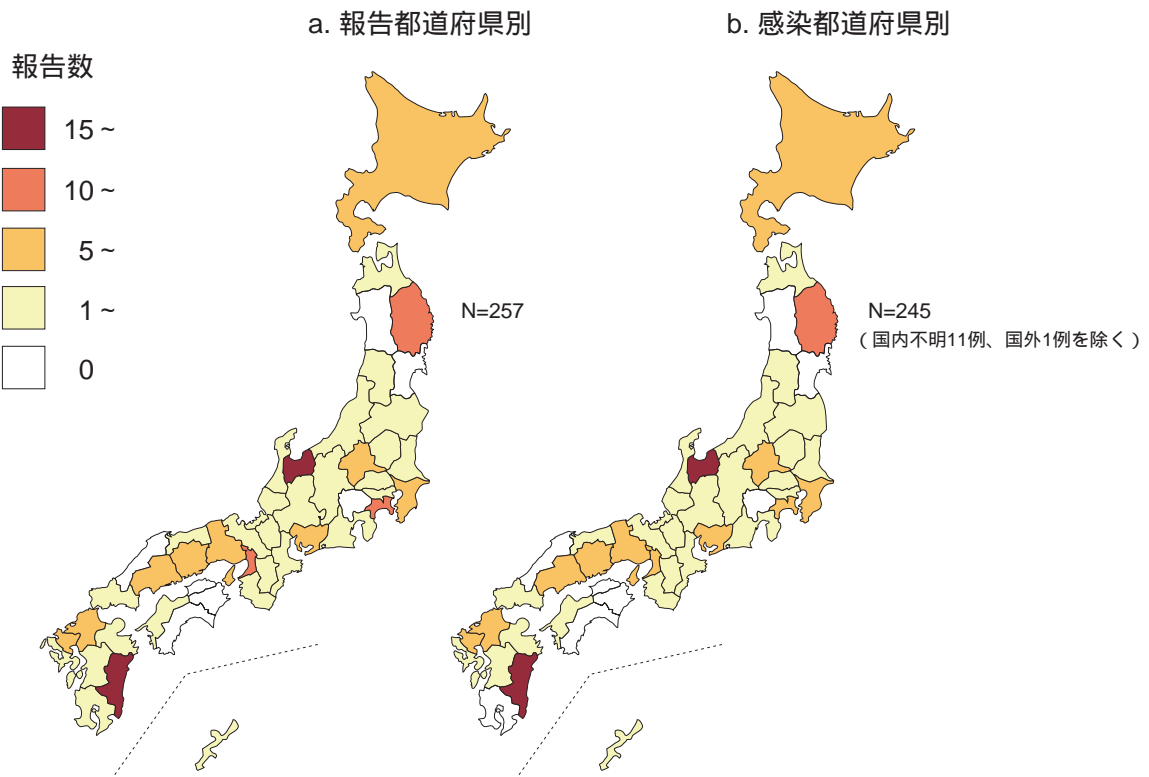


図2. 腸管出血性大腸菌感染症の都道府県別報告・感染状況(2006年第35週)

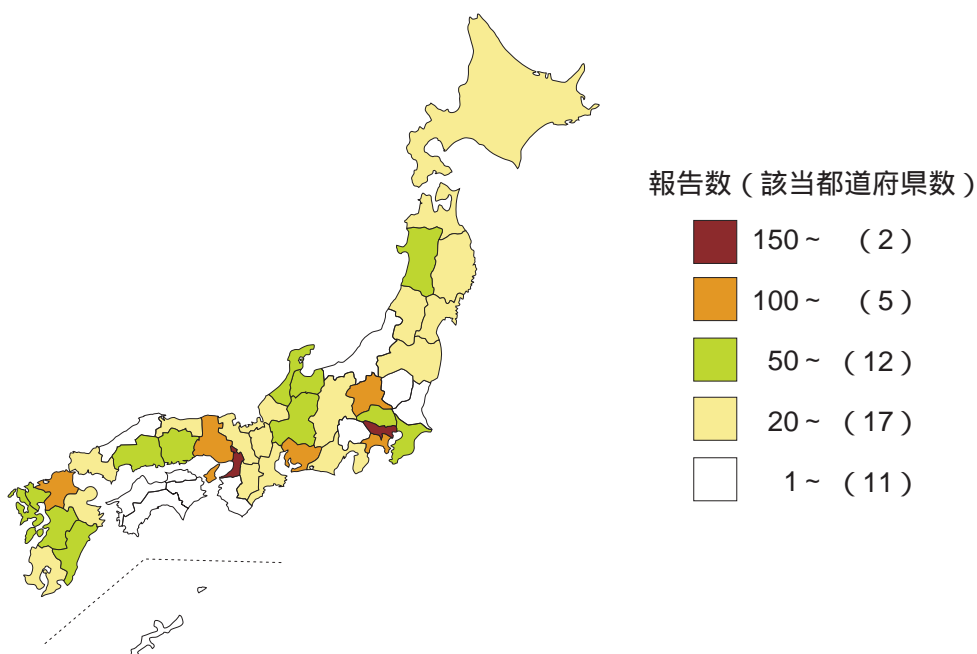


図3. 腸管出血性大腸菌感染症の都道府県別報告状況(2006年第1 ~ 35週)

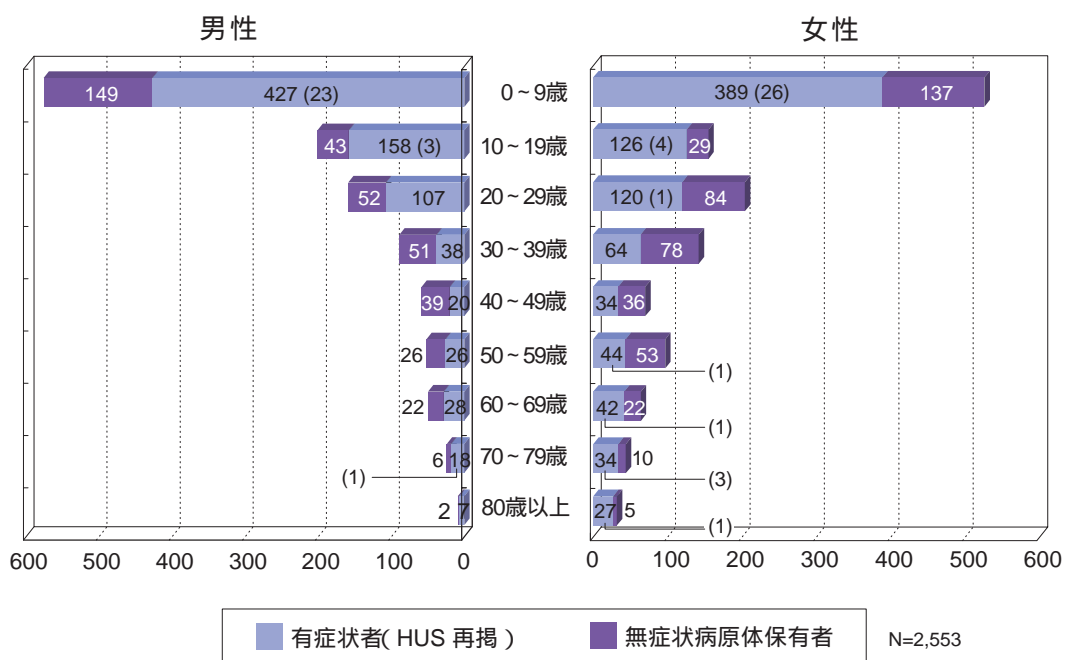


図4. 腸管出血性大腸菌感染症の性別・年齢群別・症状の有無別報告数(2006年第1 ~ 35週)

RSウイルス感染症

RSウイルス感染症(respiratory syncytial virus infection)は、病原体であるRSウイルスが感染者の鼻汁、喀痰などから接触感染あるいは飛沫感染により伝播し、上気道炎、気管・気管支炎、細気管支炎、肺炎を起こす疾患である。1歳までに50～70%、3歳までにすべての小児がRSウイルスの初感染を受ける。その後、年長児や成人での再感染が普遍的にみられるため、年齢を問わず発症するが、特に乳幼児において重要な疾患である。乳幼児の肺炎の約50%、細気管支炎の50～90%に関与するとされている。乳児では母体からの移行抗体が存在するにもかかわらず、生後数週間から数カ月の時期に感染すると重篤な症状を引き起こす。年長児や成人では重症となることは滅多にない。治療法として特異的なものはなく、基本的には酸素投与、輸液、呼吸管理などの対症療法である。予防としては現在実用化されているワクチンはなく、研究段階である。しかし、遺伝子組み換え技術による抗体製剤が認可されており、流行期に、早産児や慢性肺疾患を有する小児などのハイリスク児に対して、予防的な投与が考慮される。

本疾患の発生動向については、感染症法改正(2003年11月5日施行)により感染症法の対象疾患となり、全国約3,000の小児科定点医療機関から毎週報告されている。臨床症状のみでの診断は不可能であることから、届出基準としてウイルスの分離・同定、迅速診断キットによる抗原の検出、あるいは血清抗体の検出(中和反応または補体結合反応)による病原検査が必須とされている。しかし、臨床現場において最も簡便な迅速診断キット検査は、保険適用が3歳未満の入院例に限定されているので、届出がなされていない本症例も多いと考えられる。

感染症発生動向調査における報告数の年次推移をみると、2005年は2004年に比して増加がみられている。しかし、これが本疾患の発生の増加を反映しているのか、診断率・報告率の向上を反映しているのかの判断はできない。時期的には、過去2年間の状況では第36、37週(9月中旬)から徐々に増加し始め、第50、51週(12月半ば)にピークとなり、その後4月頃までゆっくりと減少している(図1)。また、夏季にもわずかながら報告がみられている。性別では、2004年は男性55%、女性45%、2005年は男性56%、女性44%で、男性がやや多い。年齢群別では、0歳が約50%(2004年52%、2005年47%)、1歳が約30%(2004年26%、2005年28%)、2歳が約10%(2004年10%、2005年12%)であり、2歳以下が全体の約90%を占めていた(図2)。

過去2年間における報告数の推移からは、本年もまもなく発生が増加し始めることが予想され、今後の発生動向には注意が必要である。また、抗体製剤投与の上でも流行時期の把握は重要であるので、それぞれの地域における詳細な最新の流行状況については、各都道府県の地方感染症情報センターからの情報を参考にしていきたい。

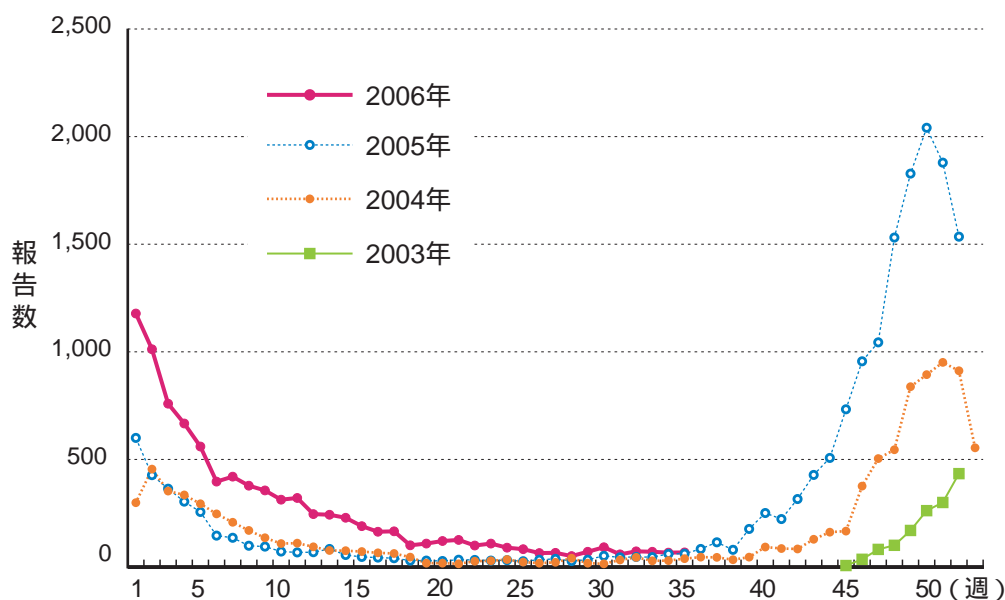


図1. RSウイルス感染症の年別・週別発生状況

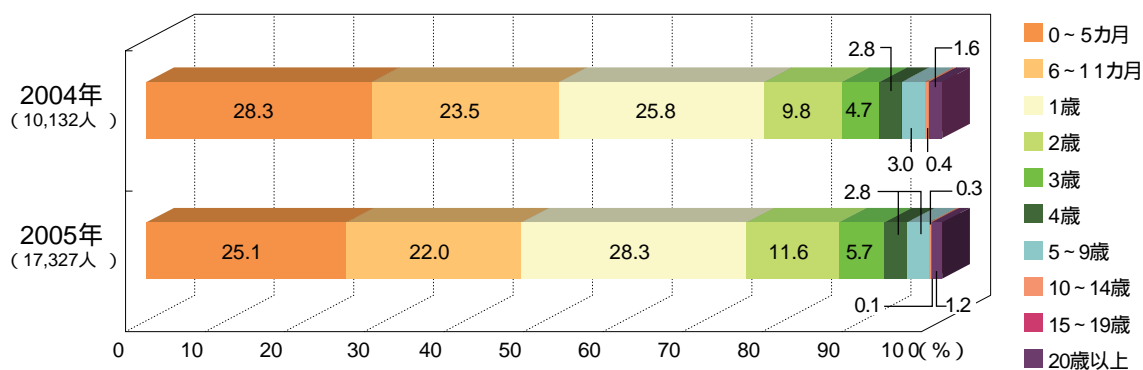


図2. RSウイルス感染症の報告症例の年別・年齢群別割合(2004～2005年)



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

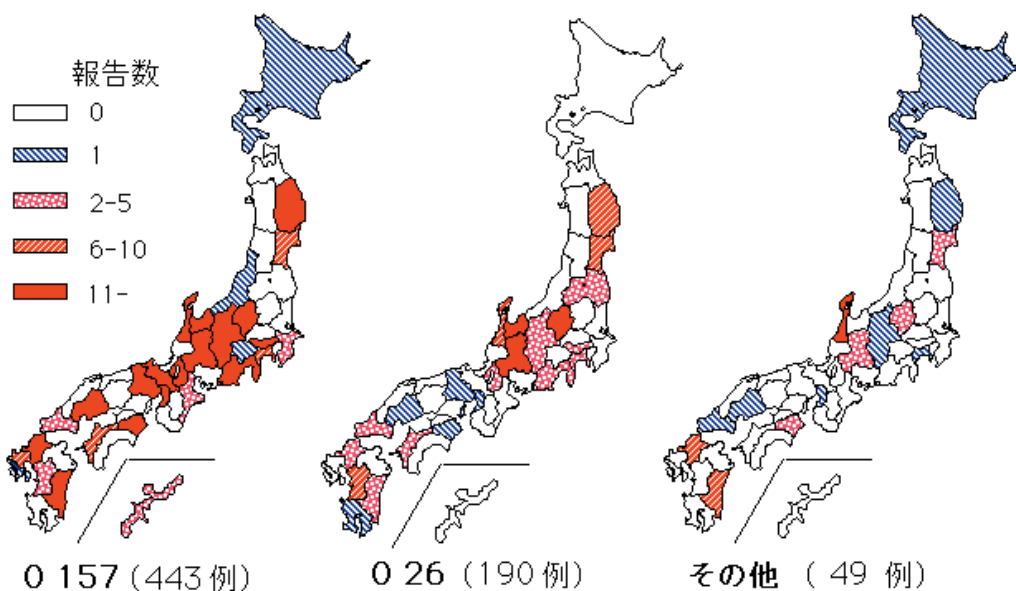
(2006年9月7日現在報告分)

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2006年

2006年の検出総数は682件で、O157が443件、O26が190件、その他の血清型が49件報告されている。O157による保育所での集団発生例が第35週に富山県で報告されている。

都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2006年

(病原微生物検出情報: 2006年9月7日現在報告数)



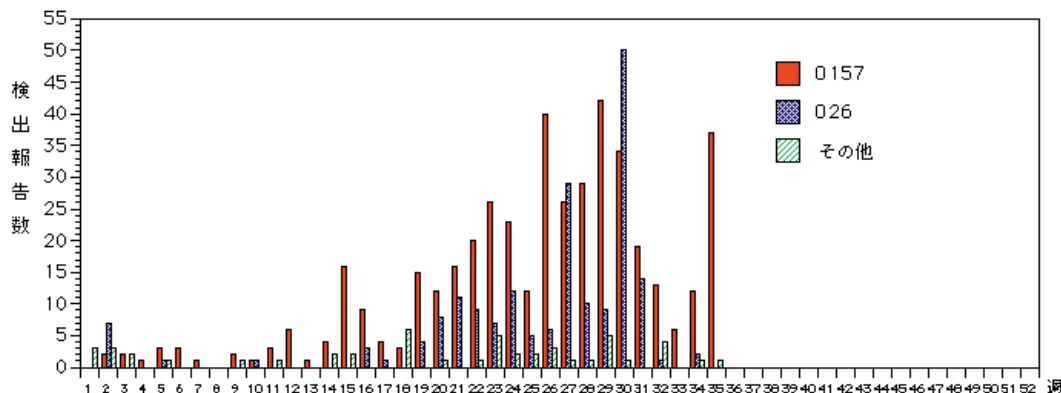
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2006年

(病原微生物検出情報: 2006年9月7日現在報告数)



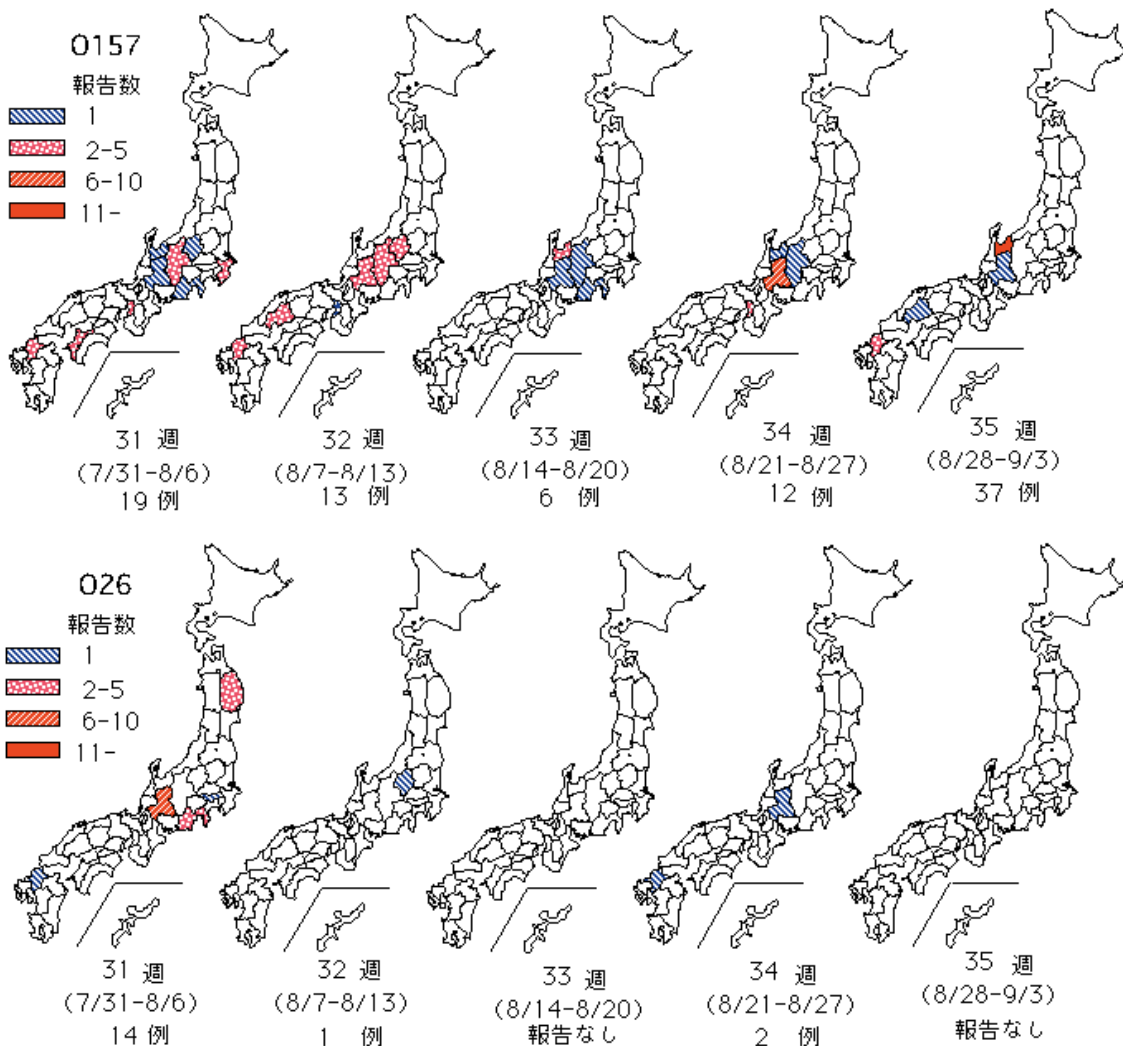
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2006年第31週～第35週

(病原微生物検出情報：2006年9月7日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



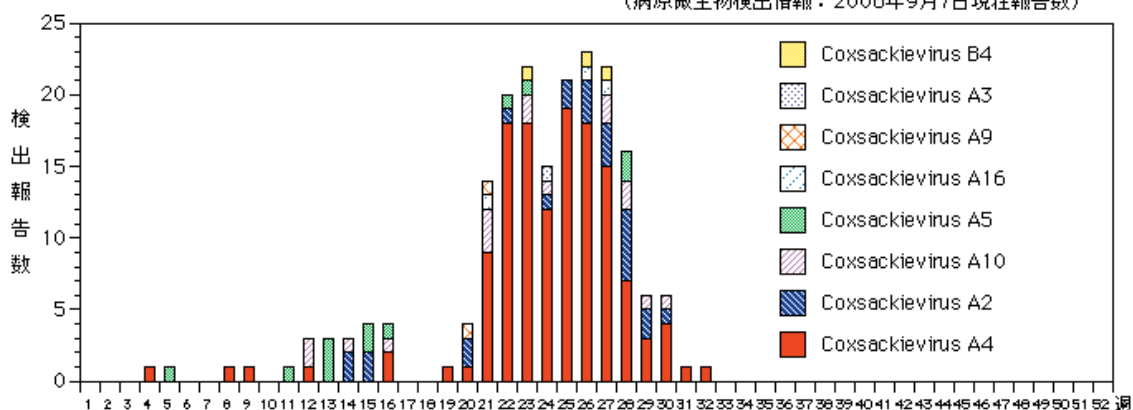
Infectious Agents Surveillance Report

ヘルパンギーナ患者から検出されているウイルス 2006年

2006年は第21週以降検出報告が増加し、A群コクサッキーウイルス(CA)191件、その他45件、計236件の検出が報告されている。CAの型別では、4型133件、2型24件、10型16件、5型12件、16型3件、9型2件、3型1件が報告されている。CA4は神奈川県をはじめ(本号14ページ「速報」参照)千葉県、愛知県など広い地域から報告されており、CA2は兵庫県からの報告が多い。

週別ヘルパンギーナ患者からの主なコクサッキーウイルス分離・検出報告数、2006年

(病原微生物検出情報: 2006年9月7日現在報告数)

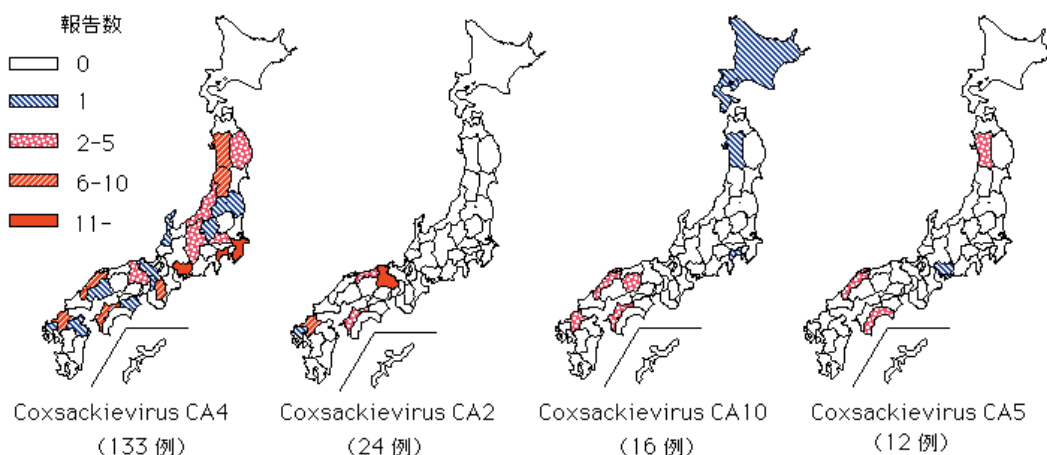


各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



都道府県別ヘルパンギーナ患者からの主なコクサッキーウイルス分離・検出報告状況、2006年

(病原微生物検出情報: 2006年9月7日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。

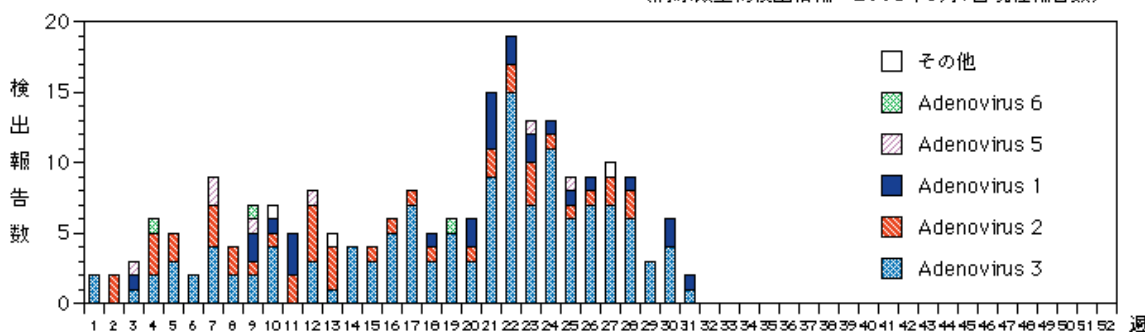


咽頭結膜熱患者から検出されているウイルス 2006年

2006年は例年より早くから検出報告が増加し、アデノウイルス3型 (Ad3) が132件、Ad2が42件、Ad1が25件、Ad5が7件、Ad6が3件報告されている。Ad3、Ad2、Ad1とも広い地域から報告されている。

週別咽頭結膜熱患者からのアデノウイルス分離・検出報告数、2006年

(病原微生物検出情報：2006年9月7日現在報告数)

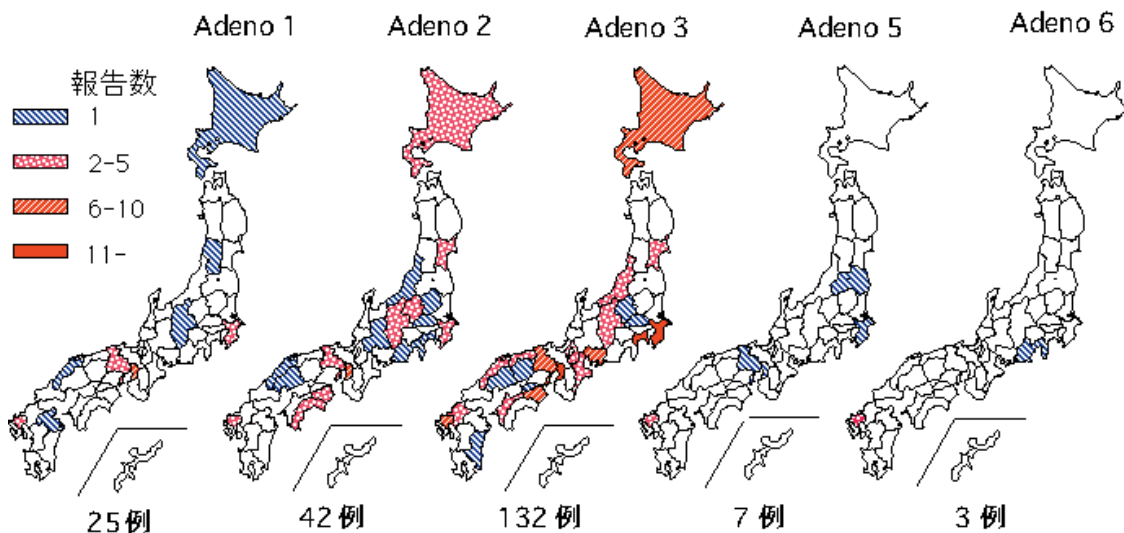


各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



都道府県別咽頭結膜熱患者からの主なアデノウイルス分離・検出状況、2006年

(病原微生物検出情報：2006年9月7日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。





ヘルパンギーナ、手足口病患者からのエンテロウイルス検出状況 - 神奈川県

2006年の神奈川県域(横浜市、川崎市を除く)でのヘルパンギーナの週別患者報告数は、第22週(5/29～6/4)に定点当たり1.0人を超え、例年に比べ2週間ほど早くから流行が始まり、2001年規模の大流行が予測されたが、第25週(6/19～6/25)に7.07人とピークを迎えた後、第31週(7/31～8/6)には定点当たり1.0人を下回り、現在、終息に向かいつつある。一方、手足口病の週別患者報告数は、第27週(7/3～7/9)から定点当たり1.0人前後で現在まで推移しており、大きな流行は見られていないが、県西地区(小田原、足柄上保健所管内)では第23週(6/5～6/11)から局地的流行が見られ、特に小田原地区では第30週(7/24～7/30)に8.00人となり、現在も流行が続いている。

神奈川県域(横浜市、川崎市、横須賀市、相模原市、藤沢市を除く)における病原体定点医療機関から搬入されたヘルパンギーナ、手足口病患者の咽頭ぬぐい液検体については、RD-18S、HeLa、Vero、HEp-2、LLC-MK2、VeroE6細胞の6種類の培養細胞、および哺乳マウスを用いてウイルス分離を行っている。細胞分離株は感染研分とおよび市販抗血清による中和試験により、哺乳マウス分離株では感染研分とおよび自家製免疫腹水等を用いたCF試験により同定しているが、難同定株についてはRT-PCR法により、エンテロウイルスVP1領域およびVP4領域の遺伝子解析を行い、NCBIのBLAST解析での相同性検索により同定を行っている。

2006年1月～8月末の期間に、ヘルパンギーナ患者検体の咽頭ぬぐい液37件が搬入されており、現在までにコクサッキーウイルス(C)A4型が20株、ヒト単純ヘルペスウイルス1型(HSV-1)が1株、アデノウイルス(Ad)3型が2株分離された。このことから、今夏のヘルパンギーナ流行の主因ウイルスはCA4と推測された。

また、手足口病患者検体の咽頭ぬぐい液39件からは、現在までにCA16が6株、CA4が3株、HSV-1が1株分離された。CA16が分離された6例中、4例が小田原地区からであり、県西地区の局地的流行はCA16によるものと推測された。EV71については、神奈川県域では2003年、2005年と流行がみられており、今シーズンはまだ検出されていないが、手足口病は県域全体でも小規模ながら流行が継続しているため、今後の動向に注意が必要である。

当所では、ヘルパンギーナ、手足口病患者からの検体はすべて、培養細胞とともに哺乳マウスによる分離を併用することで、より多くのCAを高率に分離することに努めている。今シーズンのCA4分離株23例では、哺乳マウスから23株、RD-18S細胞から2株が分離され、培養細胞よりも哺乳マウスの方がCAの検出率が高かった。また、昨シーズンは手足口病患者検体から培養細胞でEV71、哺乳マウスでCA6が検出された重複感染例や、今シーズンはヘルパンギーナ患者検体から、哺乳マウスでCA4、培養細胞でAd3が検出された重複感染例を経験している。

今後も、ウイルス流行状況の実態把握のためにこれらの分離・同定方法を活用し、病原体調査を実施していきたいと考えている。

神奈川県衛生研究所微生物部

嶋 貴子 齋藤隆行 近藤真規子 渡邊寿美 尾上洋一 新川隆康

神奈川県感染症情報センター

水野桂子 佐藤善博 折原直美

(IASR 2006年10月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2006年9月8日 - 更新30

インドネシア保健省は、新たにH5N1型鳥インフルエンザウイルス感染患者1名を確定した。患者は南スラウェシ州Makassarの14歳少女である。2006年6月18日に発症し、23日に入院し、24日に死亡した。自宅付近で家禽と接触していた。この患者は、保健省による通常のインフルエンザサーベイランスによって発見された。

H5N1型感染の症例定義が最近改訂されたことで、WHOは上記の症例に加え、2005年6月および11月に遡ってインドネシアでの2例を追加した。この2例を含めると、現在、WHOが出している検査により確定された累積患者数の表のインドネシアの患者数と、保健省が公式に発表した患者数とが一致する。症例定義の改訂前には、これらの症例は、WHOが出している血清学的に確定されたH5N1型鳥インフルエンザ感染の症例定義には合致しなかった。

過去に遡って確定された症例の第1例目は、Banten州Tangerangの8歳少女であった。2005年6月24日に発症し、7月14日に死亡した。この症例は、2005年7月にWHOに報告された家族内集団発生に含まれていた。第2例目は、中央ジャワ州Magelangの45歳男性であった。病鳥に直接接触した後の2005年11月25日に発症し、その後回復した。

過去に遡って症例が確定されたことにより、インドネシアでの合計患者数は63人となった。このうち48名が死亡している。

エチオピアおよびソマリアでのポリオ流行

WHO/EPR 2006年9月8日

ソマリアでは約3年間ポリオの流行がなかったが、昨年再びポリオの流行が発生した。現在までに確定された患者は215名で、19地域のうち14地域で流行している。エチオピアでは2004年12月に再びポリオが流行してから、11地域のうち4地域で流行し、37名のポリオ患者が報告された。ハイリスク地帯はエチオピアのSomali国境地帯、およびソマリアの北部・中央部である。ケニアでは22年間、ポリオ患者は発生していない。

「アフリカの角」諸国ではポリオウイルス伝播の“回廊”を断ち切るために、ポリオ撲滅戦略の計画、調整、整備を強化している。ソマリア、エチオピアおよびケニアでは、「アフリカの角」地域で過去最大規模の同時ワクチン接種キャンペーンの中で、9月9～12日に5歳以下の小児数百万人に対し、同時にワクチン接種を行う予定である。

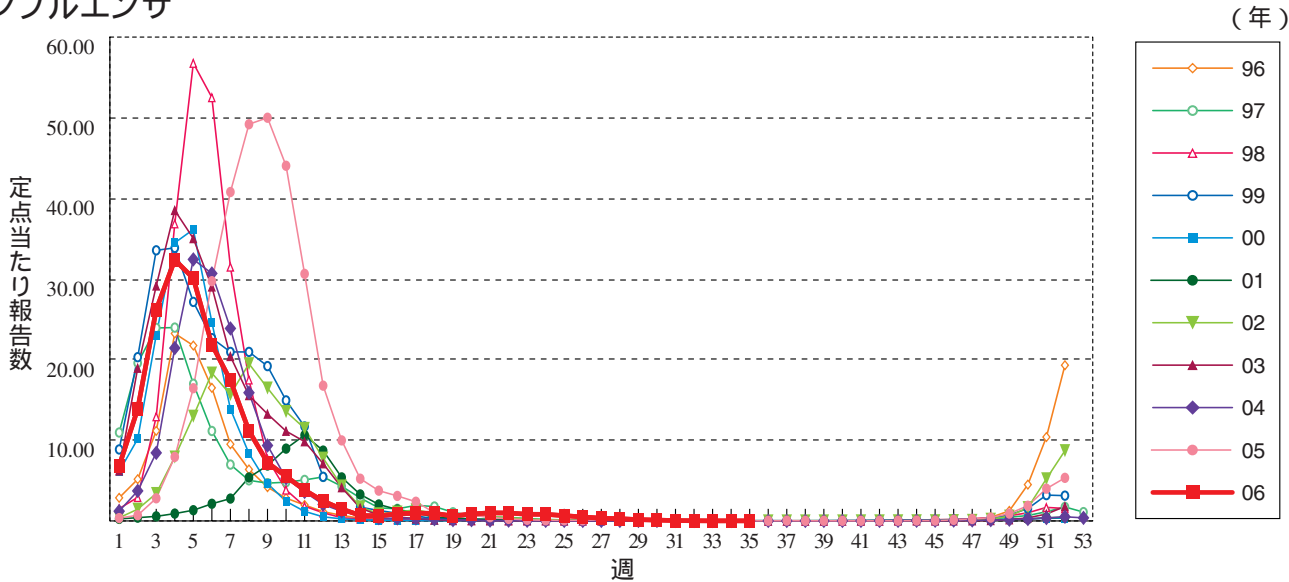


感染症の話

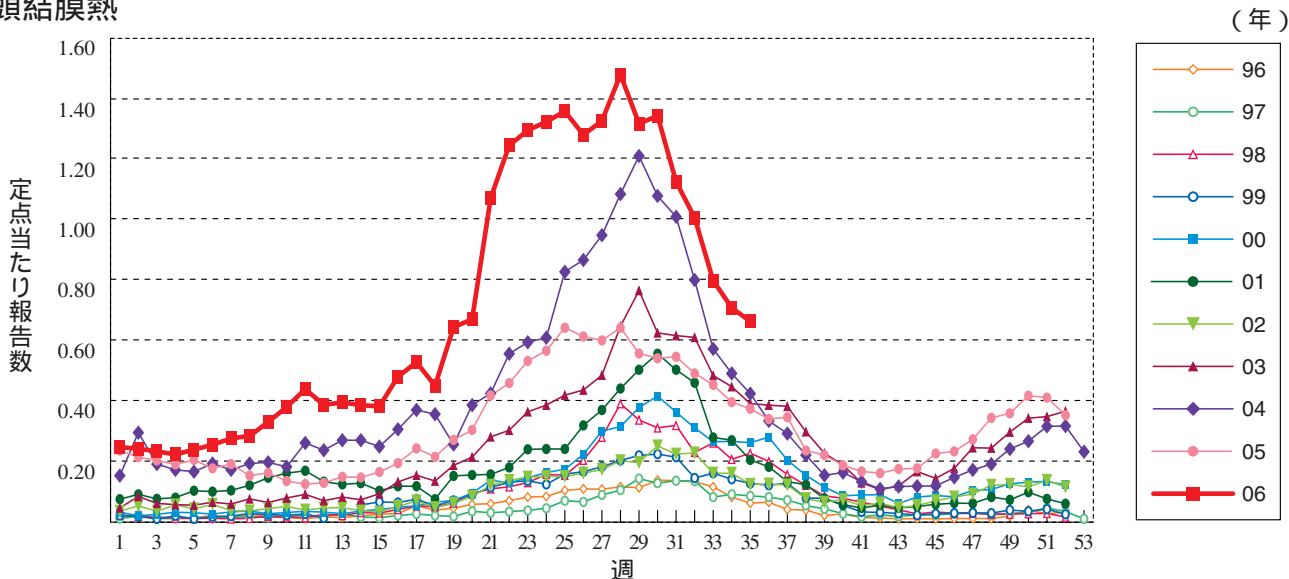
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(35週)

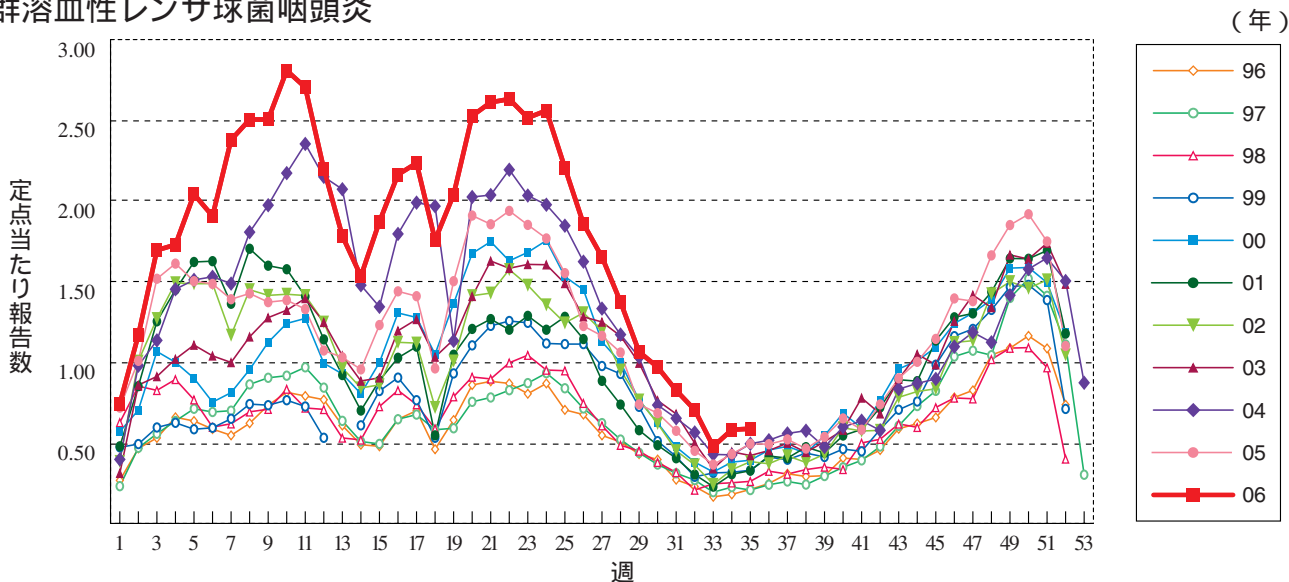
インフルエンザ



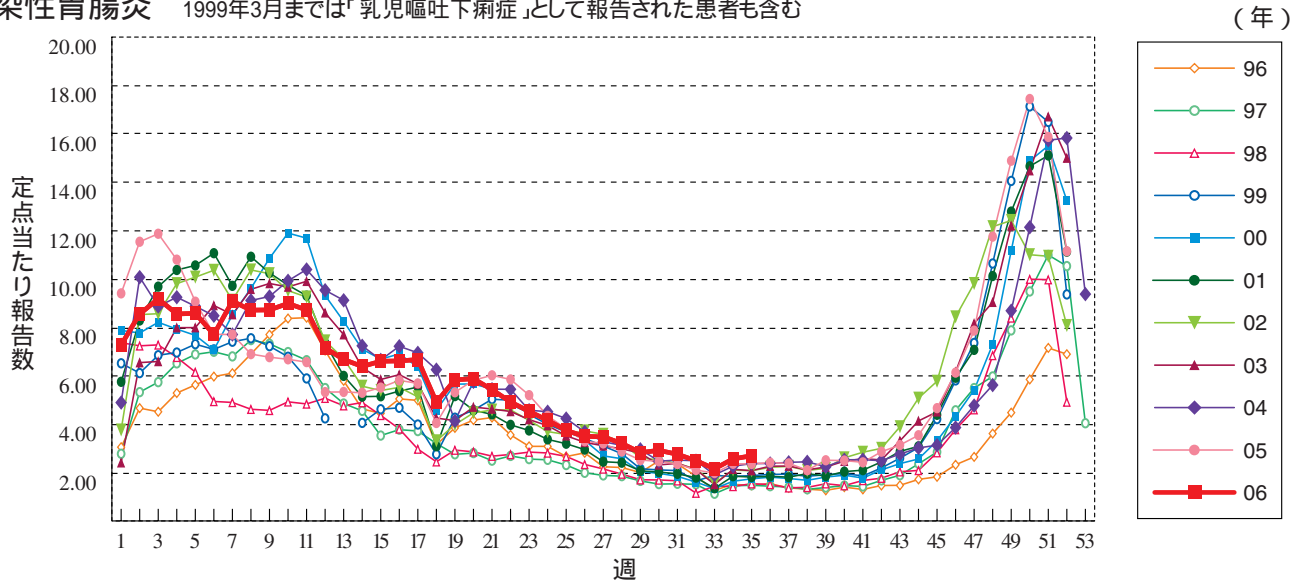
咽頭結膜熱



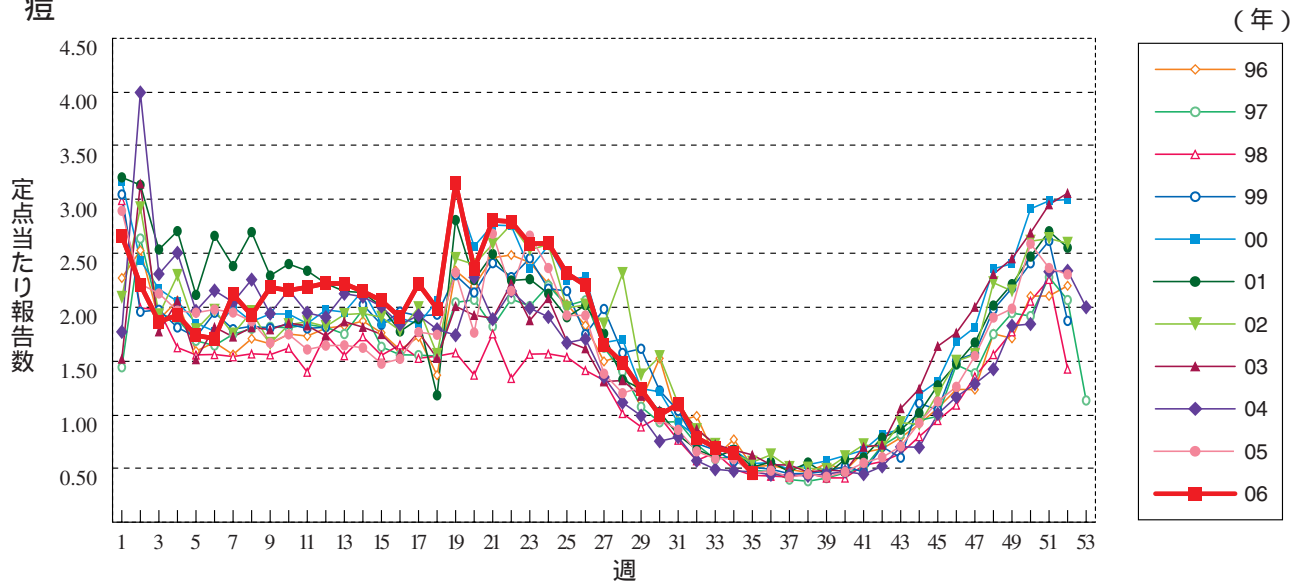
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



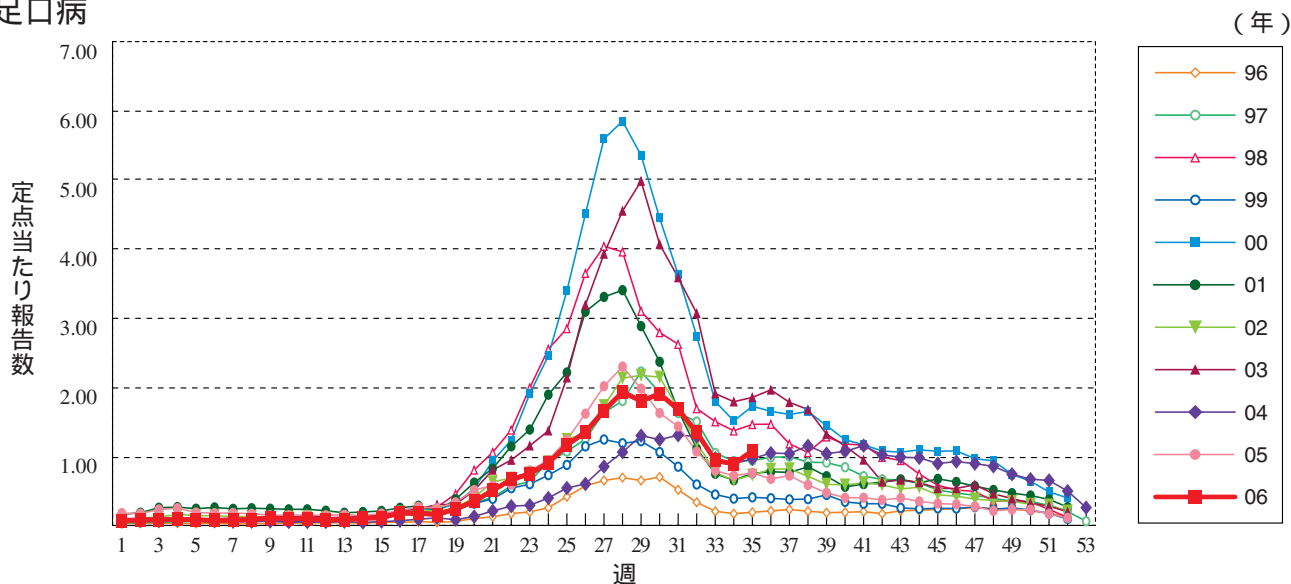
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



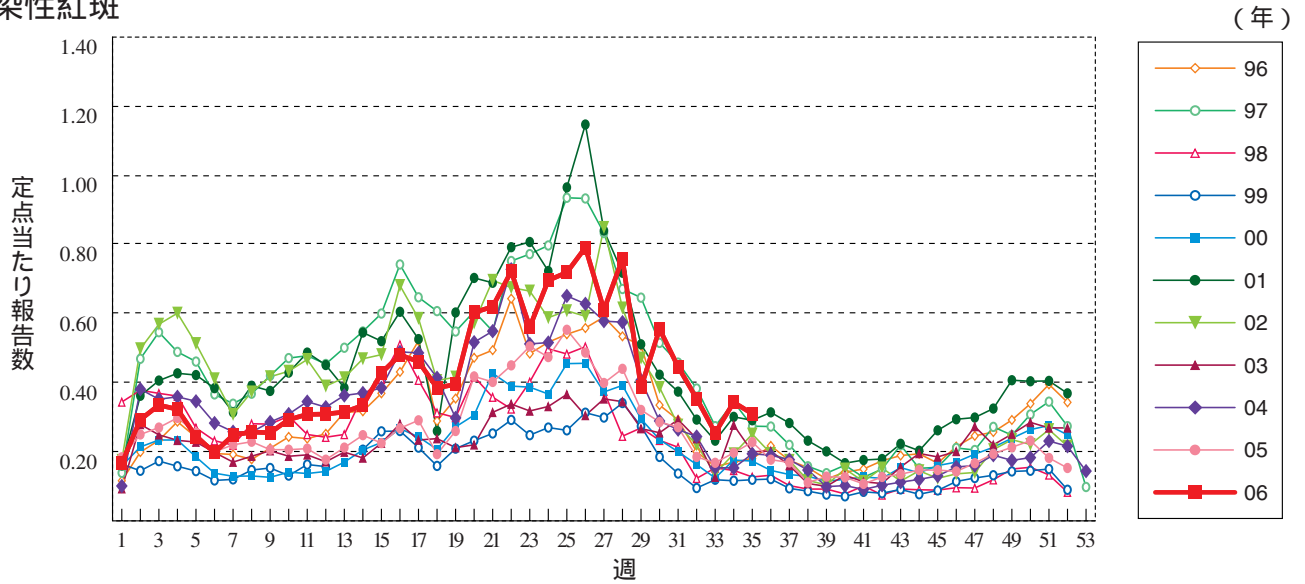
水痘



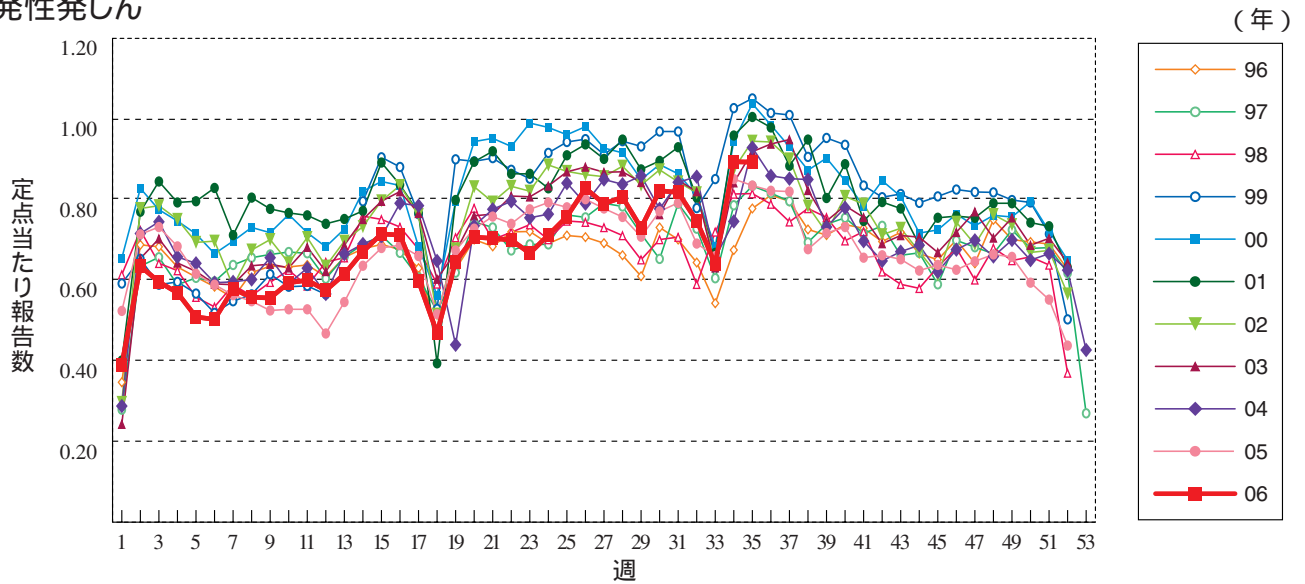
手足口病



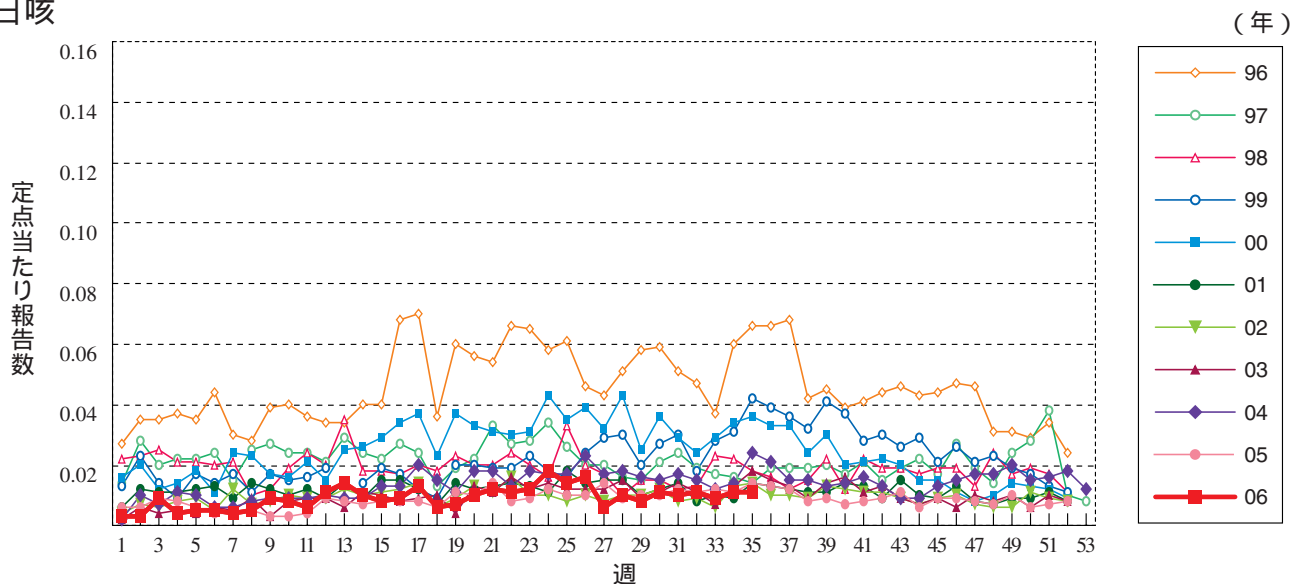
伝染性紅斑



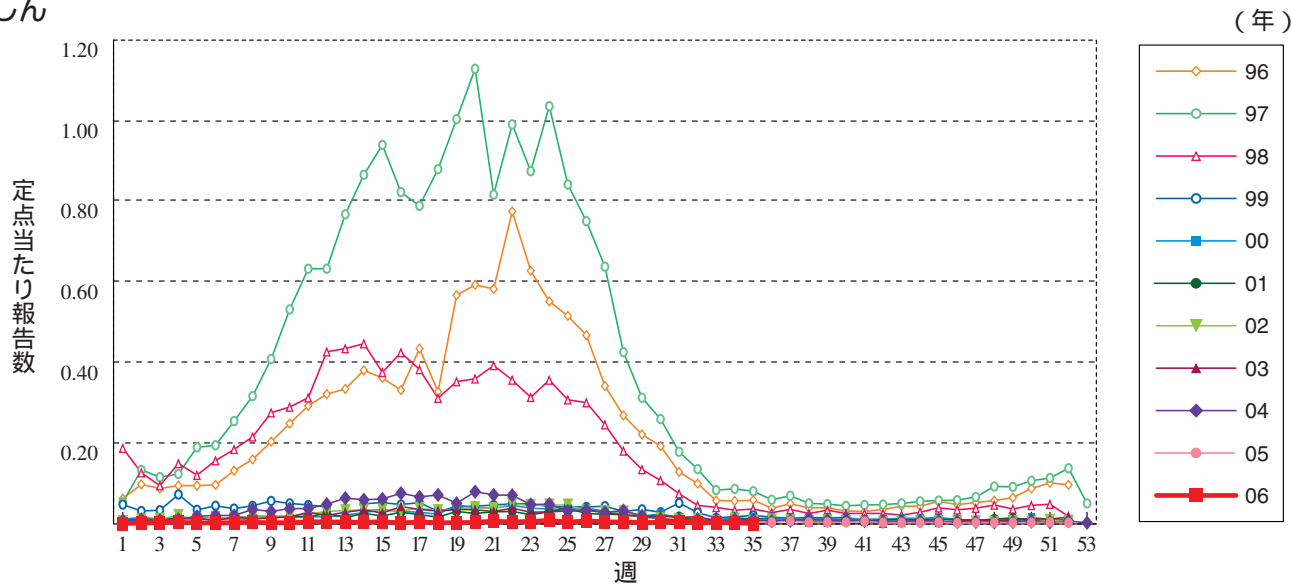
突発性発しん



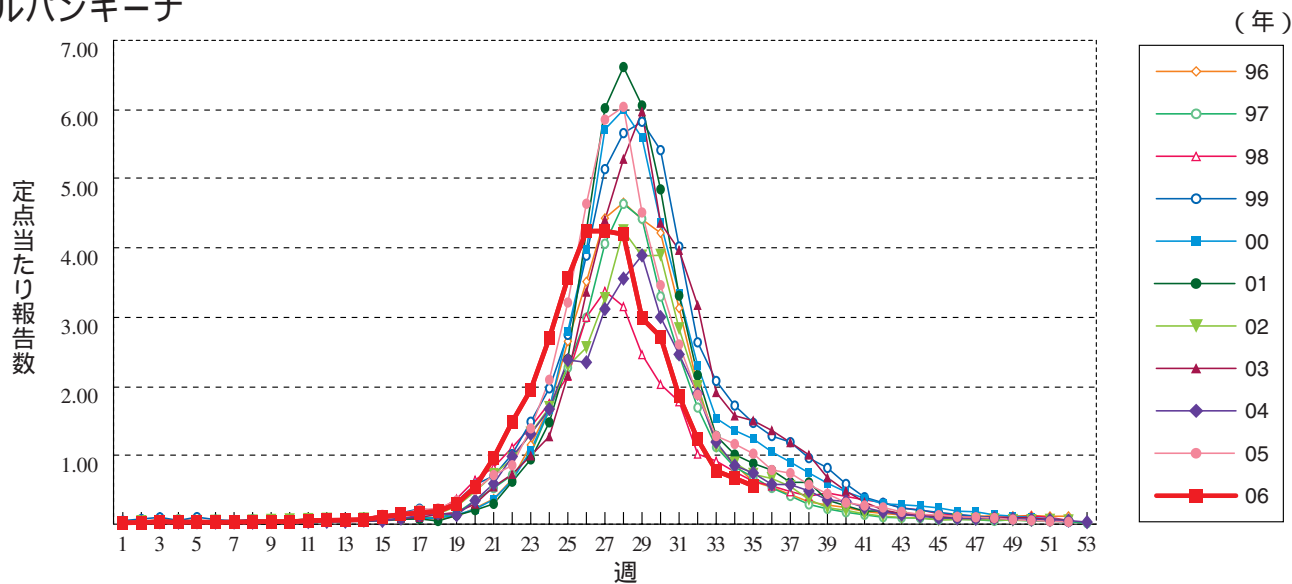
百日咳



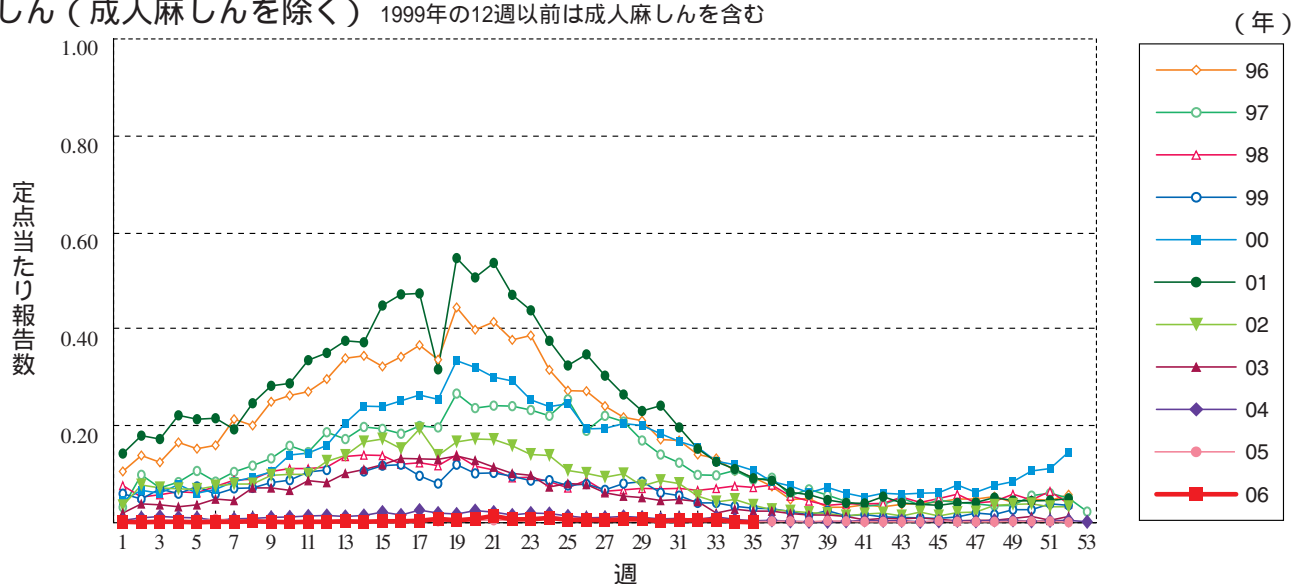
風しん



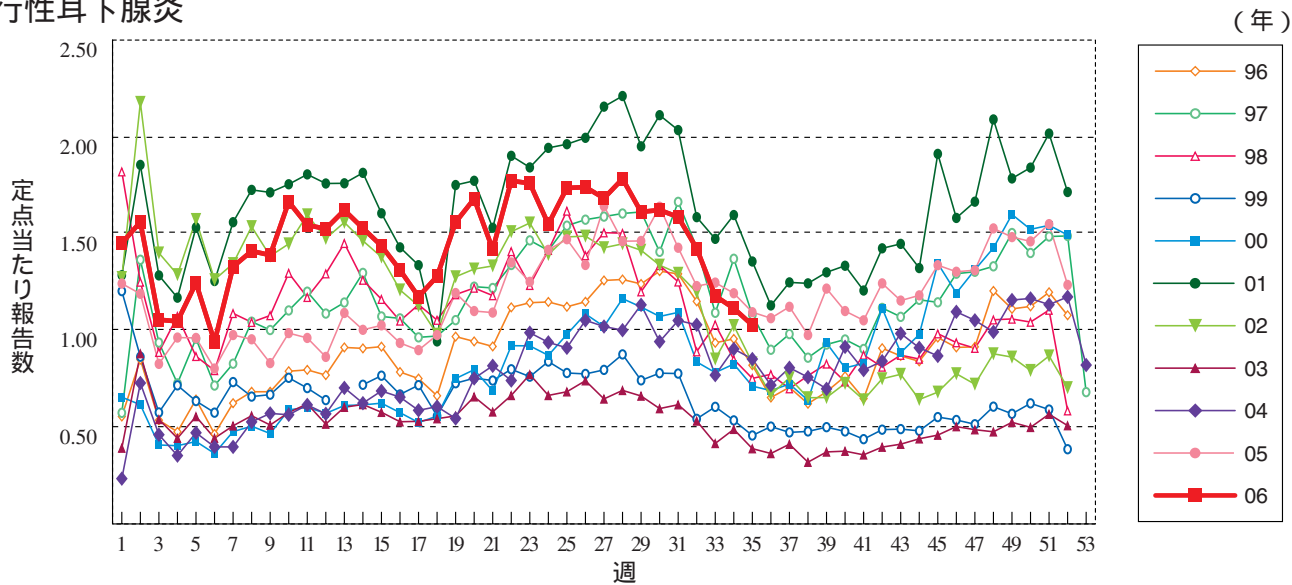
ヘルパンギーナ



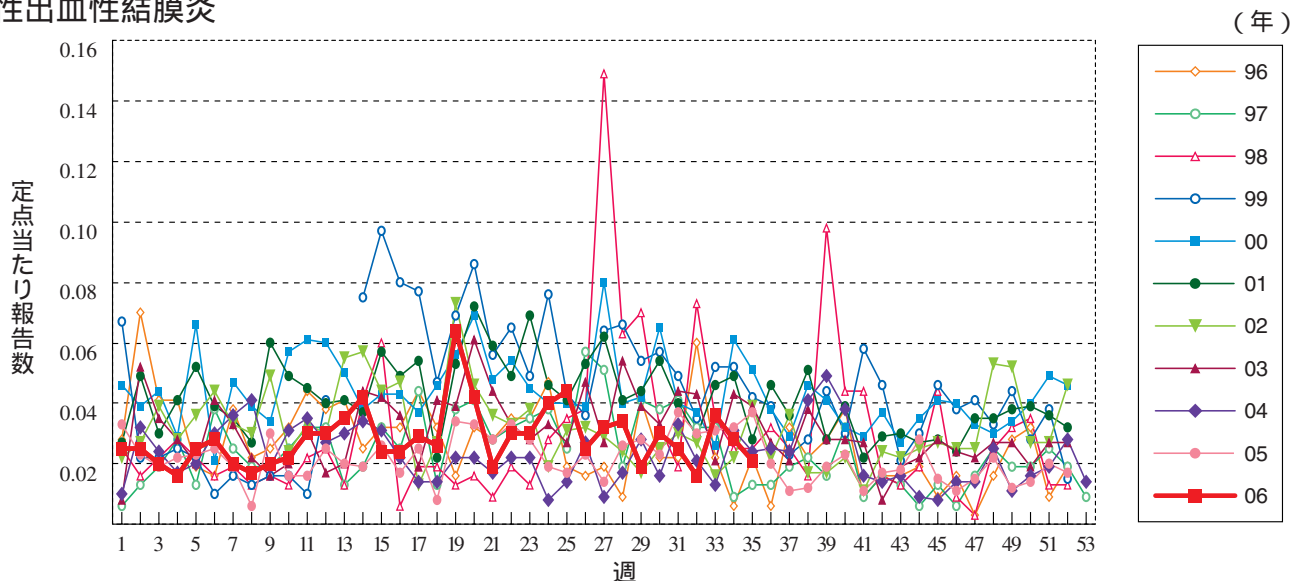
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



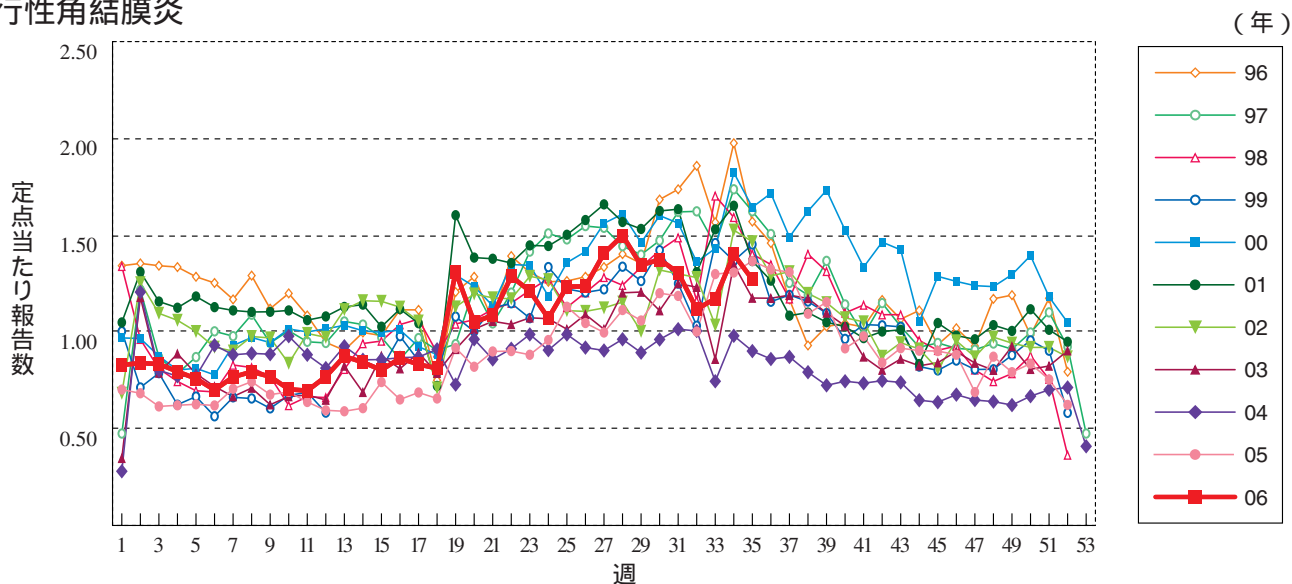
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

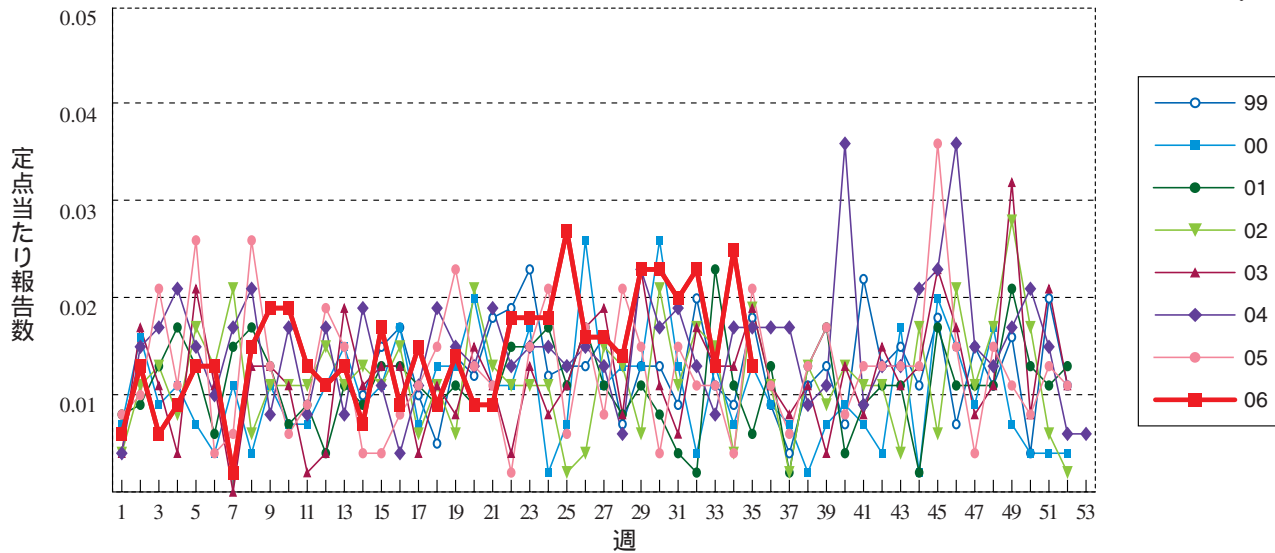


流行性角結膜炎



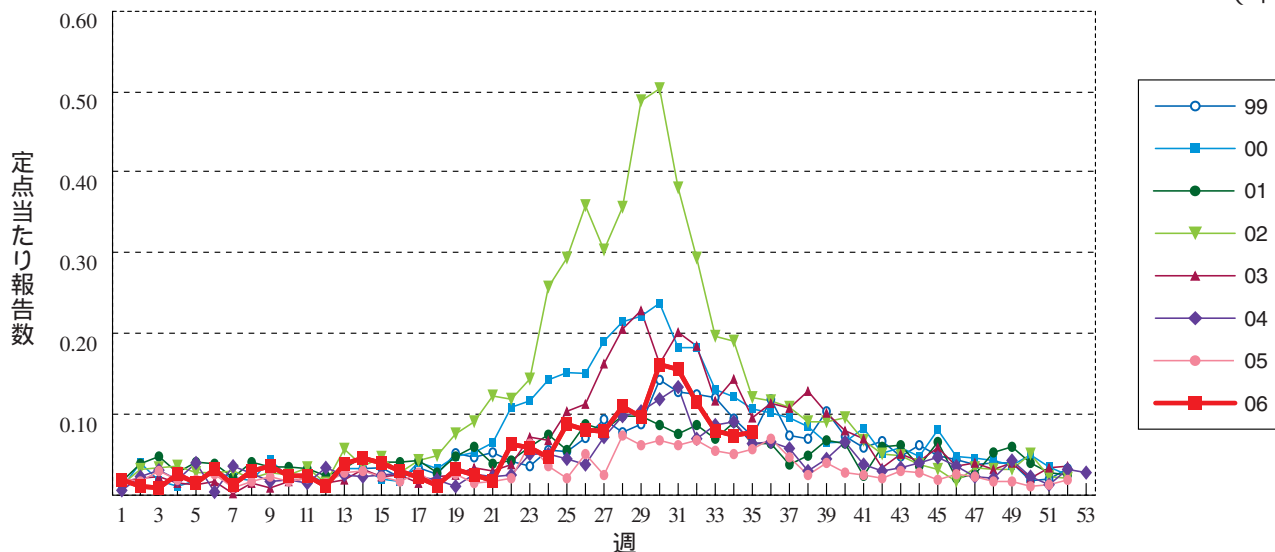
細菌性髄膜炎

(年)



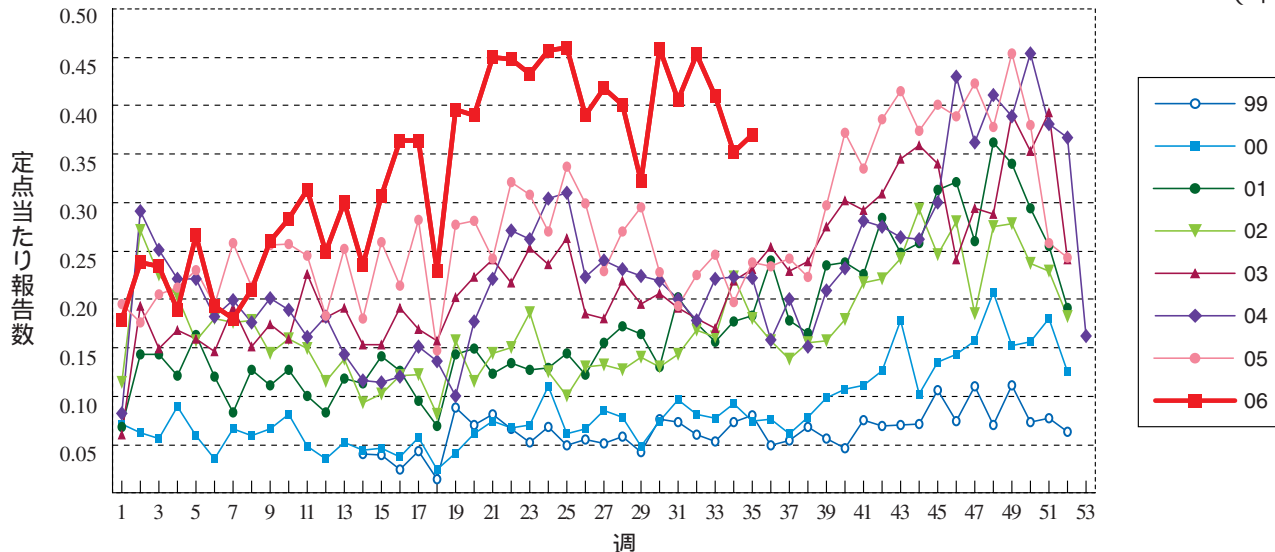
無菌性髄膜炎

(年)



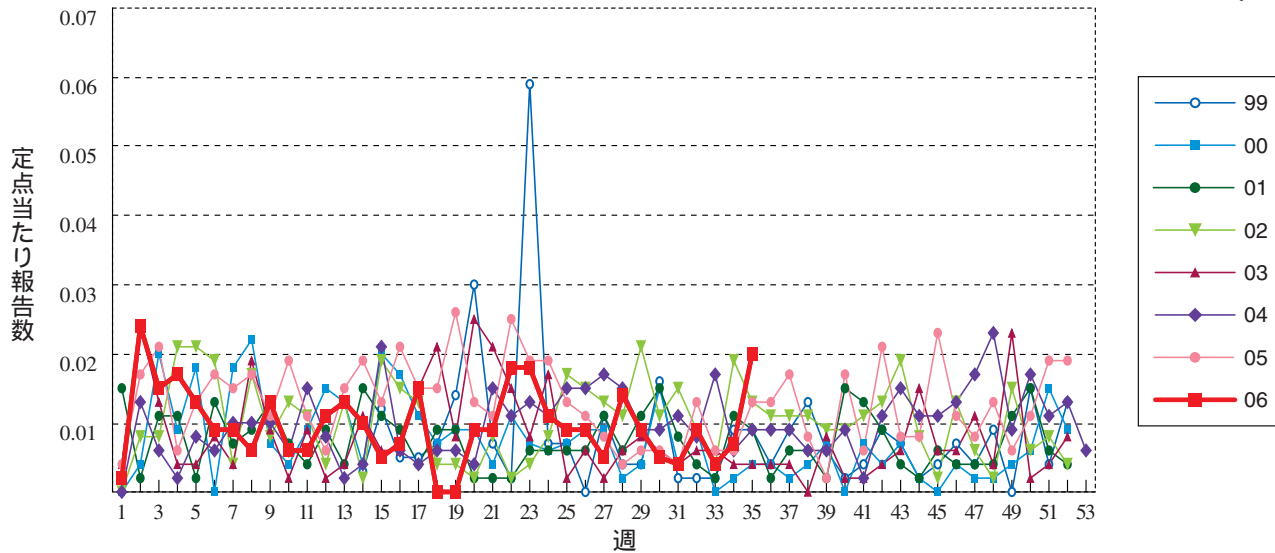
マイコプラズマ肺炎

(年)



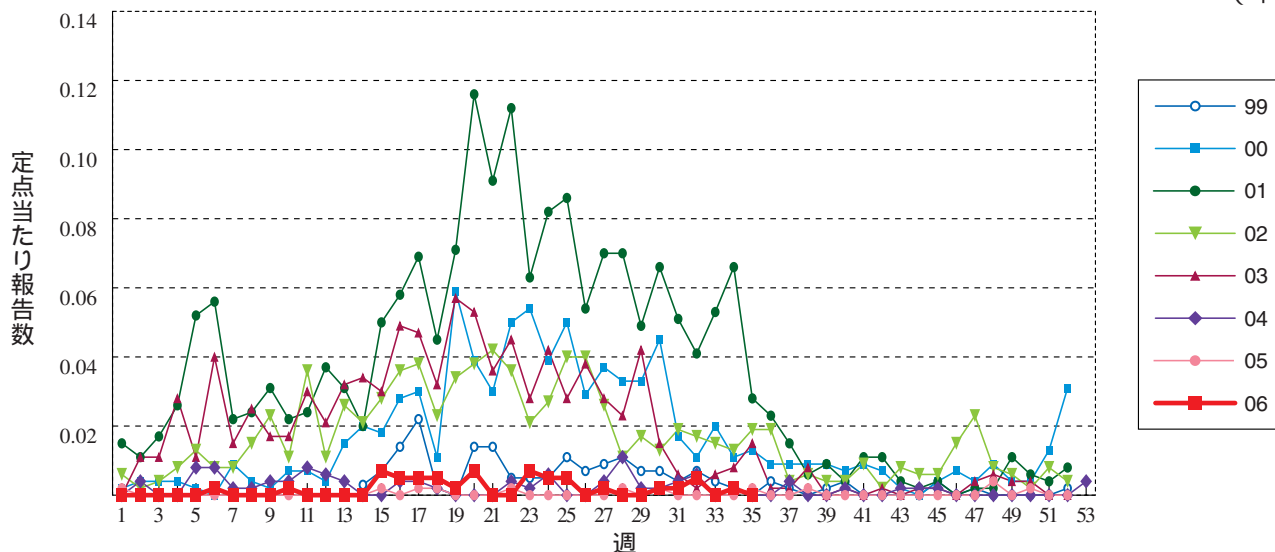
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



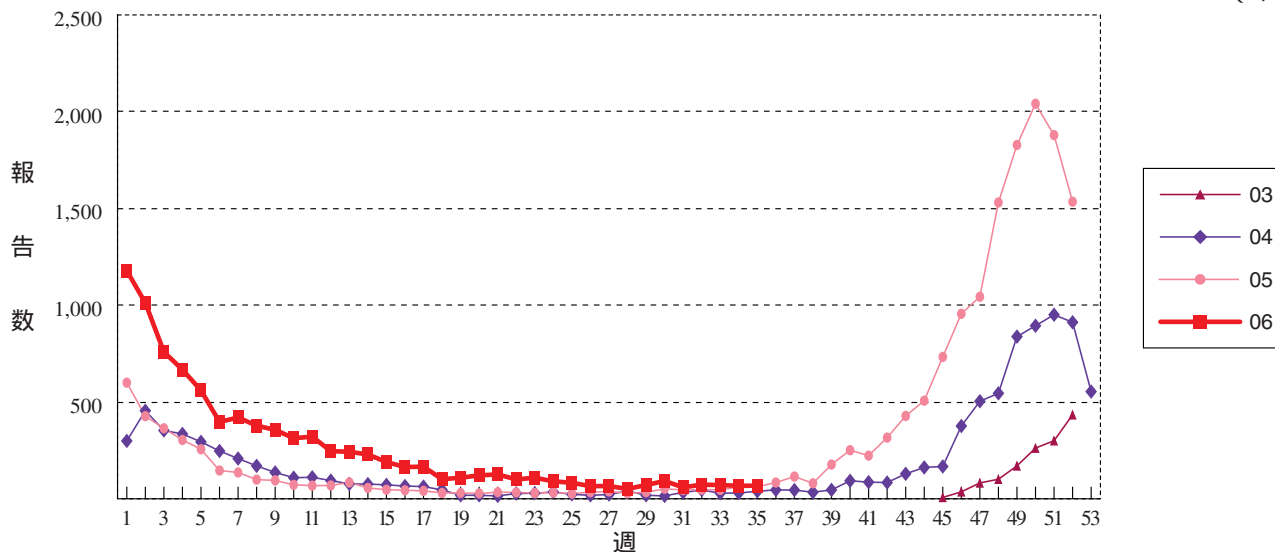
成人麻疹

(年)



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





35週のデータ

注1) 表中の報告数は9月7日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。

2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

注2) また報告システム変更の影響により、ここの「累積」においては漏れている報告例もありますが、近いうちにそれらも反映する予定です。

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2006年35週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		重症急性呼吸器症候群*		痘 そう		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		コレラ	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	39
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年35週

	細菌性赤痢		ジフテリア		腸チフス		パラチフス		腸管出血性 大腸菌感染症		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		エキノコックス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	12	302	-	-	-	52	1	17	257	2549	1	52	-	-	6	250	-	16
北海道	-	2	-	-	-	-	-	-	8	44	-	15	-	-	-	12	-	15
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	39	-	-	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	11	42	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	38	-	2	-	-	-	4	-	-
秋田県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	59	-	-	-	-	-	2	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	4	30	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	23	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	-	-	-	1	-	-	2	18	-	1	-	-	-	2	-	-
栃木県	1	4	-	-	-	1	-	-	2	13	-	2	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	5	111	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	8	-	-	-	4	-	-	3	74	-	-	-	-	-	9	-	-
千葉県	-	53	-	-	-	4	-	1	7	95	-	1	-	-	-	3	-	-
東京都	-	37	-	-	-	16	-	10	4	163	-	3	-	-	-	23	-	-
神奈川県	-	13	-	-	-	6	-	1	10	120	-	7	-	-	-	11	-	-
新潟県	-	10	-	-	-	1	-	-	2	16	-	1	-	-	-	15	-	-
富山県	-	2	-	-	-	-	-	-	72	92	-	1	-	-	-	2	-	-
石川県	2	2	-	-	-	-	-	-	3	53	-	-	-	-	-	2	-	-
福井県	-	-	-	-	-	1	-	-	2	24	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	6	-	-	-	1	-	1	3	30	-	3	-	-	-	2	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	3	91	-	-	-	-	-	8	-	-
静岡県	-	3	-	-	-	1	-	-	1	46	-	-	-	-	-	5	-	-
愛知県	-	20	-	-	-	4	-	2	9	142	-	3	-	-	-	15	-	-
三重県	-	2	-	-	-	-	-	-	2	25	-	-	-	-	-	1	-	1
滋賀県	-	3	-	-	-	-	-	-	2	34	1	1	-	-	2	6	-	-
京都府	1	2	-	-	-	1	-	-	1	38	-	2	-	-	-	9	-	-
大阪府	3	71	-	-	-	6	1	2	12	210	-	-	-	-	1	37	-	-
兵庫県	-	15	-	-	-	-	-	-	7	113	-	1	-	-	-	18	-	-
奈良県	-	2	-	-	-	-	-	-	4	21	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	22	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	5	86	-	-	-	-	-	14	-	-
広島県	-	4	-	-	-	-	-	-	9	70	-	1	-	-	-	7	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	36	-	1	-	-	-	5	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	1	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	5	-	-	-	2	-	-	1	14	-	-	-	-	-	4	-	-
高知県	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
福岡県	3	19	-	-	-	1	-	-	7	129	-	1	-	-	1	8	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	9	52	-	-	-	-	-	2	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	3	56	-	-	-	-	1	8	-	-
熊本県	-	2	-	-	-	-	-	-	3	72	-	5	-	-	-	3	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	26	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	28	83	-	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	30	-	-	-	-	-	2	-	-
沖縄県	2	2	-	-	-	-	-	-	1	17	-	-	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年35週

	黄熱		オウム病		回帰熱		Q熱		狂犬病		高病原性鳥インフルエンザ		コクシジオイデス症		サル痘		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	15	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年35週

	炭 疽		つつが虫病		デング熱		ニパウイルス 感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	1	176	1	31	-	-	3	19	1	1	-	-	-	-	-	3
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	9	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	4	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年35週

	発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス感染症		レジオネラ症		レプトスピラ症		アメーバ赤痢	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	1	5	46	-	-	2	7	-	-	6	324	1	3	8	507
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7	-	-	-	13
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	8
秋田県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	5
茨城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	4
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	22
千葉県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	28
東京都	-	-	-	-	1	10	-	-	1	1	-	-	-	42	-	1	3	127
神奈川県	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	54
新潟県	-	-	-	-	-	4	-	-	1	1	-	-	-	16	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	14	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	6
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	9	-	-	-	6
静岡県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	12
愛知県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	26	-	-	-	32
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	2	8
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	6
京都府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	1	16
大阪府	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	19	-	1	1	65
兵庫県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	27
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	6
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	6
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	4
高知県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	9
佐賀県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	3	1	1	-	4
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。
 **ウエストナイル脳炎および日本脳炎を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年35週

	ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	3	176	-	117	-	12	3	107	1	85	20	858	2	62	-	10	-	-
北海道	-	4	-	5	-	3	1	6	-	6	-	20	-	1	-	-	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-
福島県	-	2	-	2	-	-	-	2	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	6	-	-	-	1	-	2	-	22	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	3	-	3	-	8	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	2	-	7	-	-	-	4	-	3	2	27	-	1	-	1	-	-
千葉県	-	3	-	15	-	-	-	4	-	6	1	38	-	1	-	-	-	-
東京都	1	24	-	4	-	5	-	11	-	11	8	279	1	19	-	1	-	-
神奈川県	-	9	-	3	-	1	-	6	-	4	2	52	1	9	-	3	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	5	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
富山県	-	3	-	1	-	-	-	3	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	4	-	1	-	1	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	3	-	2	-	-	-	4	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
長野県	-	7	-	-	-	-	1	3	-	1	-	15	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	3	-	1	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	2	-	-	-	4	-	5	-	16	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	7	-	8	-	-	1	4	-	8	2	68	-	2	-	1	-	-
三重県	-	9	-	3	-	-	-	1	-	1	1	4	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	7	-	1	-	-	-	-
京都府	-	4	-	-	-	-	-	3	-	1	-	23	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	19	-	9	-	1	-	7	-	4	2	94	-	10	-	1	-	-
兵庫県	1	18	-	4	-	-	-	4	1	7	1	36	-	1	-	-	-	-
奈良県	-	6	-	1	-	-	-	-	-	2	-	11	-	3	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	2	-	-	-	2	-	1	-	7	-	2	-	-	-	-
広島県	-	6	-	8	-	-	-	4	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-
山口県	-	2	-	1	-	-	-	3	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	3	-	1	-	1	-	2	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	6	-	7	-	-	-	5	-	-	-	16	-	3	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-	1	7	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年35週

	梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		インフルエンザ (H5N1)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	8	415	4	73	-	-	-	47	-	-
北海道	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-
青森県	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	13	-	-	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	2	5	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	4	1	4	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	11	-	6	-	-	-	1	-	-
東京都	2	84	-	6	-	-	-	7	-	-
神奈川県	-	15	-	4	-	-	-	8	-	-
新潟県	-	4	-	2	-	-	-	2	-	-
富山県	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
長野県	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-
静岡県	-	8	-	2	-	-	-	4	-	-
愛知県	-	32	-	2	-	-	-	-	-	-
三重県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	6	-	1	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	26	-	2	-	-	-	3	-	-
兵庫県	-	16	-	1	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	3	1	4	-	-	-	1	-	-
広島県	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-
山口県	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-
高知県	-	23	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	24	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	29	1	4	-	-	-	1	-	-
大分県	-	6	-	2	-	-	-	2	-	-
宮崎県	1	6	-	4	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	14	-	5	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-

*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2006年35週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	45	0.01	1986	0.66	1756	0.59	8054	2.69	1356	0.45	3225	1.08	928	0.31	2669	0.89	32	0.01
北海道	-	-	78	0.55	150	1.05	151	1.06	64	0.45	211	1.48	28	0.20	129	0.90	2	0.01
青森県	1	0.02	9	0.21	16	0.38	61	1.45	17	0.40	38	0.90	16	0.38	36	0.86	-	-
岩手県	-	-	2	0.05	32	0.82	74	1.90	6	0.15	24	0.62	5	0.13	29	0.74	-	-
宮城県	-	-	15	0.25	39	0.64	147	2.41	25	0.41	53	0.87	20	0.33	62	1.02	1	0.02
秋田県	-	-	18	0.51	27	0.77	98	2.80	12	0.34	31	0.89	10	0.29	29	0.83	-	-
山形県	-	-	33	1.10	26	0.87	32	1.07	8	0.27	53	1.77	4	0.13	24	0.80	-	-
福島県	-	-	18	0.38	49	1.02	141	2.94	23	0.48	40	0.83	16	0.33	46	0.96	1	0.02
茨城県	5	0.08	56	0.75	47	0.63	106	1.41	25	0.33	11	0.15	30	0.40	38	0.51	2	0.03
栃木県	1	0.01	4	0.09	17	0.37	52	1.13	16	0.35	57	1.24	11	0.24	53	1.15	3	0.07
群馬県	-	-	35	0.57	29	0.48	181	2.97	32	0.52	47	0.77	15	0.25	49	0.80	-	-
埼玉県	-	-	114	0.72	118	0.74	423	2.66	81	0.51	217	1.36	85	0.53	162	1.02	1	0.01
千葉県	4	0.02	69	0.59	54	0.46	219	1.87	74	0.63	59	0.50	56	0.48	110	0.94	1	0.01
東京都	-	-	62	0.44	62	0.44	383	2.72	36	0.26	97	0.69	42	0.30	105	0.74	-	-
神奈川県	-	-	99	0.51	101	0.52	437	2.23	82	0.42	170	0.87	61	0.31	176	0.90	-	-
新潟県	-	-	50	0.82	38	0.62	82	1.34	17	0.28	311	5.10	19	0.31	56	0.92	-	-
富山県	-	-	30	1.03	32	1.10	126	4.34	20	0.69	51	1.76	8	0.28	21	0.72	-	-
石川県	2	0.04	23	0.79	20	0.69	96	3.31	15	0.52	117	4.03	1	0.03	16	0.55	-	-
福井県	-	-	5	0.23	11	0.50	133	6.05	8	0.36	65	2.95	3	0.14	28	1.27	-	-
山梨県	-	-	12	0.50	8	0.33	41	1.71	1	0.04	44	1.83	3	0.13	17	0.71	-	-
長野県	1	0.01	104	1.89	26	0.47	132	2.40	30	0.55	256	4.65	19	0.35	38	0.69	1	0.02
岐阜県	1	0.01	37	0.71	28	0.54	58	1.12	27	0.52	69	1.33	34	0.65	37	0.71	3	0.06
静岡県	-	-	72	0.84	61	0.71	330	3.84	31	0.36	106	1.23	46	0.53	77	0.90	-	-
愛知県	-	-	104	0.57	109	0.60	346	1.90	101	0.55	163	0.90	106	0.58	145	0.80	3	0.02
三重県	-	-	58	1.29	40	0.89	173	3.84	24	0.53	94	2.09	17	0.38	52	1.16	-	-
滋賀県	-	-	21	0.66	6	0.19	28	0.88	12	0.38	38	1.19	18	0.56	18	0.56	-	-
京都府	-	-	37	0.51	36	0.50	216	3.00	30	0.42	38	0.53	23	0.32	50	0.69	1	0.01
大阪府	2	0.01	132	0.72	122	0.67	570	3.11	92	0.50	115	0.63	38	0.21	180	0.98	3	0.02
兵庫県	-	-	50	0.39	55	0.43	380	2.99	41	0.32	125	0.98	23	0.18	121	0.95	1	0.01
奈良県	-	-	38	1.09	13	0.37	59	1.69	10	0.29	17	0.49	1	0.03	29	0.83	-	-
和歌山県	-	-	11	0.37	6	0.20	60	2.00	21	0.70	31	1.03	13	0.43	26	0.87	-	-
鳥取県	-	-	25	1.32	25	1.32	126	6.63	6	0.32	4	0.21	9	0.47	23	1.21	-	-
島根県	-	-	28	1.22	10	0.43	89	3.87	6	0.26	28	1.22	6	0.26	16	0.70	-	-
岡山県	-	-	23	0.43	15	0.28	145	2.69	18	0.33	37	0.69	2	0.04	34	0.63	-	-
広島県	-	-	52	0.72	32	0.44	251	3.49	25	0.35	11	0.15	10	0.14	55	0.76	2	0.03
山口県	-	-	23	0.47	33	0.67	206	4.20	20	0.41	32	0.65	10	0.20	51	1.04	-	-
徳島県	-	-	9	0.47	8	0.42	32	1.68	21	1.11	11	0.58	5	0.26	15	0.79	-	-
香川県	-	-	23	0.72	3	0.09	90	2.81	18	0.56	17	0.53	8	0.25	28	0.88	1	0.03
愛媛県	-	-	14	0.38	8	0.22	169	4.57	18	0.49	33	0.89	6	0.16	51	1.38	-	-
高知県	-	-	58	1.93	14	0.47	71	2.37	6	0.20	46	1.53	1	0.03	29	0.97	-	-
福岡県	1	0.01	106	0.88	64	0.53	483	4.03	59	0.49	43	0.36	20	0.17	138	1.15	4	0.03
佐賀県	-	-	24	1.04	9	0.39	26	1.13	6	0.26	16	0.70	8	0.35	32	1.39	-	-
長崎県	3	0.04	27	0.61	13	0.30	131	2.98	20	0.45	4	0.09	32	0.73	31	0.70	-	-
熊本県	-	-	33	0.69	32	0.67	212	4.42	23	0.48	41	0.85	5	0.10	49	1.02	1	0.02
大分県	1	0.02	43	1.19	43	1.19	203	5.64	45	1.25	13	0.36	-	-	49	1.36	-	-
宮崎県	3	0.05	51	1.38	47	1.27	219	5.92	32	0.86	32	0.86	26	0.70	56	1.51	-	-
鹿児島県	-	-	31	0.55	19	0.34	167	2.98	38	0.68	13	0.23	9	0.16	39	0.70	1	0.02
沖縄県	20	0.34	20	0.59	3	0.09	99	2.91	14	0.41	96	2.82	-	-	14	0.41	-	-

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2006年35週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	4	0.00	1654	0.55	2	0.00	3072	1.03	13	0.02	802	1.27	6	0.01	35	0.08	165	0.37
北海道	-	-	252	1.76	-	-	161	1.13	-	-	23	0.79	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	66	1.57	-	-	35	0.83	-	-	6	0.55	-	-	-	-	4	0.67
岩手県	-	-	15	0.38	-	-	51	1.31	-	-	2	0.17	-	-	-	-	6	0.30
宮城県	-	-	62	1.02	-	-	68	1.11	2	0.17	2	0.17	-	-	-	-	4	0.33
秋田県	-	-	63	1.80	-	-	10	0.29	-	-	3	0.43	-	-	-	-	4	0.50
山形県	-	-	22	0.73	-	-	22	0.73	-	-	6	0.75	-	-	1	0.10	4	0.40
福島県	-	-	38	0.79	-	-	56	1.17	-	-	14	1.17	-	-	-	-	2	0.33
茨城県	-	-	47	0.63	1	0.01	51	0.68	-	-	31	2.07	-	-	-	-	5	0.83
栃木県	-	-	18	0.39	-	-	45	0.98	-	-	24	2.00	-	-	-	-	5	0.71
群馬県	-	-	18	0.30	-	-	85	1.39	-	-	50	3.57	-	-	1	0.13	11	1.38
埼玉県	-	-	56	0.35	-	-	158	0.99	-	-	73	1.87	-	-	-	-	9	1.00
千葉県	-	-	41	0.35	-	-	87	0.74	1	0.03	45	1.45	-	-	-	-	5	0.56
東京都	-	-	40	0.28	-	-	65	0.46	-	-	11	0.79	1	0.04	2	0.08	4	0.16
神奈川県	-	-	79	0.40	1	0.01	149	0.76	1	0.02	72	1.76	-	-	-	-	3	0.43
新潟県	-	-	32	0.52	-	-	203	3.33	-	-	7	0.70	-	-	2	0.17	1	0.08
富山県	-	-	27	0.93	-	-	22	0.76	1	0.14	12	1.71	-	-	-	-	1	0.20
石川県	-	-	7	0.24	-	-	10	0.34	-	-	9	1.29	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	9	0.41	-	-	3	0.14	-	-	11	3.67	-	-	3	0.50	1	0.17
山梨県	-	-	4	0.17	-	-	34	1.42	-	-	10	1.25	-	-	-	-	6	0.60
長野県	1	0.02	33	0.60	-	-	143	2.60	1	0.09	33	3.00	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	23	0.44	-	-	13	0.25	-	-	6	0.60	1	0.20	4	0.80	4	0.80
静岡県	-	-	40	0.47	-	-	104	1.21	-	-	19	0.95	-	-	-	-	1	0.10
愛知県	2	0.01	54	0.30	-	-	116	0.64	-	-	20	0.57	-	-	-	-	8	0.67
三重県	-	-	30	0.67	-	-	54	1.20	-	-	3	0.25	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	10	0.31	-	-	21	0.66	-	-	7	1.00	-	-	2	0.29	2	0.29
京都府	-	-	33	0.46	-	-	34	0.47	-	-	11	0.69	-	-	2	0.33	2	0.33
大阪府	-	-	77	0.42	-	-	218	1.19	-	-	41	0.95	1	0.09	1	0.09	22	2.00
兵庫県	-	-	57	0.45	-	-	176	1.39	-	-	31	0.89	1	0.08	2	0.15	2	0.15
奈良県	-	-	12	0.34	-	-	11	0.31	-	-	2	0.22	-	-	2	0.33	-	-
和歌山県	-	-	8	0.27	-	-	28	0.93	-	-	2	0.50	-	-	2	0.18	1	0.09
鳥取県	-	-	12	0.63	-	-	19	1.00	-	-	4	1.33	-	-	1	0.20	-	-
島根県	-	-	13	0.57	-	-	47	2.04	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	20	0.37	-	-	61	1.13	1	0.08	10	0.83	-	-	-	-	4	0.80
広島県	-	-	26	0.36	-	-	38	0.53	1	0.05	19	1.00	-	-	1	0.05	3	0.14
山口県	-	-	41	0.84	-	-	54	1.10	-	-	14	1.56	-	-	1	0.11	2	0.22
徳島県	1	0.05	7	0.37	-	-	21	1.11	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	6	0.19	-	-	34	1.06	-	-	6	2.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	23	0.62	-	-	20	0.54	-	-	31	3.88	-	-	-	-	4	0.67
高知県	-	-	35	1.17	-	-	27	0.90	-	-	3	1.00	-	-	2	0.29	1	0.14
福岡県	-	-	68	0.57	-	-	117	0.98	4	0.15	48	1.85	1	0.07	-	-	8	0.53
佐賀県	-	-	18	0.78	-	-	22	0.96	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1.00
長崎県	-	-	16	0.36	-	-	25	0.57	1	0.13	15	1.88	-	-	-	-	4	0.33
熊本県	-	-	28	0.58	-	-	34	0.71	-	-	26	2.89	-	-	1	0.07	-	-
大分県	-	-	24	0.67	-	-	96	2.67	-	-	2	0.40	-	-	1	0.09	-	-
宮崎県	-	-	28	0.76	-	-	52	1.41	-	-	3	0.75	-	-	2	0.29	-	-
鹿児島県	-	-	8	0.14	-	-	151	2.70	-	-	11	1.57	1	0.08	-	-	6	0.50
沖縄県	-	-	8	0.24	-	-	21	0.62	-	-	22	2.20	-	-	2	0.29	10	1.43

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 2006年35週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	9	0.02	-	-	68
北海道	-	-	-	-	5
青森県	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-
栃木県	2	0.29	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	1
千葉県	3	0.33	-	-	-
東京都	-	-	-	-	3
神奈川県	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	2
大阪府	1	0.09	-	-	6
兵庫県	-	-	-	-	6
奈良県	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	3	0.60	-	-	1
広島県	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	9
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	3
宮崎県	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	14

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年35週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群 (SARS)						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2006年35週

	インフルエンザ(H5N1)	
	鳥類	
	報告数	累積
総数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

感染症週報 第8巻 第35号 2006年9月15日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。